

もくじ

もくじ	1
はじめに	12

1章 Q & A 集を見る前に 15

1 トラブルを解消するまで	16
1 ヘルプで調べる	18
2 dynabook.com で調べる	21
2 トラブル解消に役立つ操作	23

2章 Q & A 集 25

電源を入れるとき／切るとき	26
Q 電源スイッチを押しても反応しない	26
Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない (Battery LED がオレンジ色に点滅している場合)	26
Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない (DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合)	26
Q 電源を入れたが、システムが起動しない	27
Q 画面に「DynaBook」と表示されたまま、 Windows が起動しない	28
Q 自動的に電源が入ってしまう	28
Q [終了オプション] から電源が切れない	30
Q 使用中に突然電源が切れてしまった	30
Q しばらく操作しないとき、電源が切れる	31
Q 間違って電源を切ってしまった	32

Q Windows の起動と同時にプログラムが実行される	32
Q パソコンが休止状態にならない	33
Q 休止状態を設定できない	33
画面／表示	34
Q 画面に何も表示されない (Power LED が消灯、またはオレンジ色に点滅している場合)	34
Q 電源が入っているが、画面に何も表示されない (Power LED が緑色に点灯している場合)	34
Q 画面が見にくい	35
Q 画面が暗い	35
Q 画面の色がはっきりしない	37
Q [画面のプロパティ] で [画面の解像度] や [画面の色] を変更できない	38
Q CRT ディスプレイで画面の色が にじんだように表示される	39
Windows	40
Q [スタート] ボタン／タスクバーを表示したい	40
Q 使用していたウィンドウが消えてしまった	41
Q ウィンドウが画面から切れて表示されている	41
Q ファイルを保存した場所がわからなくなった	42
Q 内蔵時計が合っていない	43
Q パソコンの処理速度が遅くなった	44
Q フォルダやファイルの名前を変えたい	45
Q Windows Update ができない	46

バッテリー駆動で使用する時	47
Q Battery LEDが点滅した	47
Q 充電したはずのバッテリーパックを使用しても Battery LEDがオレンジ色に点滅する	47
Q バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる	48
キーボード	49
Q キーを押しても文字が表示されない	49
Q キーボードから文字を入力しているときに カーソルがとんでしまう	49
Q 「\」（バックslash）が入力できない	49
Q ひらがなや漢字の入力ができない	50
Q キーボードで入力モードを切り替えたい	50
Q 記号や特殊文字が入力できない	50
Q キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう	51
Q どのキーを押しても反応しない 設定は合っているが、希望の文字が入力できない	52
Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった	52
Q キーを押し続けたときの文字入力の変えたい	53
Q キーボードのショートカットキーの一覧を見たい	53
Q ファンクションキーの使いかたは？	54
タッチパッド／マウス	55
Q タッチパッドやマウスを動かしても画面の ポインタが動かない（反応しない）	55
Q ダブルクリックがうまくできない	55
Q ポインタの動きが遅い／速い	56
Q USB マウスが使えない	56

CD / DVD	57
Q CD / DVD にアクセスできない	57
Q CD-ROM LED が消えない	58
Q CD / DVD をセットしても自動的に起動しない	58
Q 正しく動作する CD / DVD もあるが、 動作しない CD / DVD もある	58
Q CD-ROM のデータを読み出せない 音楽 CD の再生中に音飛びする	59
Q 再生中の動画がとぎれる 動画がなめらかに再生されない	59
Q CD / DVD が取り出せない	60
Q パソコン本体またはドライブの 電源が入らないため、CD / DVD が取り出せない	60
サウンド機能	61
Q スピーカから音が聞こえない	61
Q サウンドレコーダーで音楽 CD からうまく録音できない	62
Q サウンドレコーダーで録音したが音質がよくない	62
Q サウンド再生時に音飛びが発生する	63
インターネット接続	64
Q モジュラーケーブルを接続したらテレビや ラジオの音が聞こえてきた	64
Q 「接続を確立できません」、「このドメインにアクセス できませんでした」、「サーバーは要求したアドレスを 拒否しました」と表示された	64
Q 回線が突然切断された	66
Q [XX (接続先) に接続しています ...] 画面がしばらく 続いた後、「リモートコンピュータが応答しません でした」と表示された	67

Q 「発信音がありませんでした」と表示された	68
Q 「電話回線はビジーです」と表示された	69
Q モデムの設定を購入時の状態に戻したい	70
Q 複数のユーザでメールやインターネットを使いたい	71
Q PHS、携帯電話で接続したい	73
Q 引っ越したときの手続きは？	74
インターネット閲覧	76
Q [スタート] → [Internet Explorer] をクリックすると 「ページを表示できません」と表示された	76
Q Internet Explorer で「このページは、インターネットに 接続していないと表示できません。」「要求された Web ページは、オフラインで使用できません。」 と表示された	76
Q 今まで見ることでできたページが見られなくなった	77
Q Internet Explorer でページを開くと 文字化けして見られない	77
Q Internet Explorer 終了時に、切断の確認画面が 出なくなった	78
Q [検索] の内容が正しく表示されない	78
Q 画像ファイルが表示されない	78
Q [お気に入り] のバックアップをとりたい	79
Q [履歴] のバックアップをとりたい	80
メール	81
Q メッセージを送受信できない	81
Q 送信トレイにメッセージがたまのまま送信されない	82
Q アドレス帳に新しい名前を追加しても、 個人用アドレス帳に表示されない	82
Q 連絡先に表示されない情報がある	83

Q 誤って違う人にメールを送信してしまった	83
Q ファイルを添付したメールが送れない	83
Q 添付ファイルが表示できない	84
Q 送付したメールの添付ファイルが、 文字化けしているといわれた	85
Q 新着メールチェックができない	85
Q メール着信表示が消えない	85
Q メールや連絡先データのバックアップをとりたい	86
LAN 機能	87
Q ネットワークに接続できない	87
赤外線通信	88
Q 赤外線通信ができない	88
Q 赤外線通信ソフトが使えない	88
Q 赤外線通信はできるが、データが正しく送られない	88
周辺機器	89
Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は？ ...	89
Q 周辺機器を取り付けたが正しく動かない	89
SD メモリカード	90
Q SD メモリカードが使えない	90
Q SD メモリカードに書き込み (データの保存) ができない ...	90
Q SD メモリカードの曲を再生できない	91
Q 「READ ERROR」 「DATA ERROR」 「CODE ERROR」と表示された	91

スマートメディア	92
Q スマートメディアが使えない	92
Q スマートメディアに書き込み (データの保存) ができない... ..	92
フロッピーディスク	94
Q フロッピーディスクに書き込み (データの保存) ができない	94
Q ファイルを開こうとすると「読み込みエラー」や 「ディスクエラー」が表示された	95
Q フロッピーディスクのフォーマットに時間がかかる	95
Q 起動用フロッピーディスクからシステムが起動しない.....	96
プリンタ	97
Q 印刷ができない	97
Q 印刷を実行すると【ファイルへ出力】画面が表示される....	98
Q スタンバイ状態、休止状態から復帰後、 正常に印刷できない.....	98
Q 最後まで正しく印刷できない	99
Q 上記のすべてを行っても印刷できない.....	99
PC カード	100
Q PC カードが認識されない.....	100
Q PC カードの挿入は認識されるが デバイスとして認識されない	100
Q PC カードは認識されるが使用できない.....	100
USB 対応機器.....	101
Q USB 対応機器が使えない.....	101
Q 休止状態から復帰後、 USB 対応機器が正常に動作しない	102

i.LINK (IEEE1394) 対応機器.....	103
Q i.LINK (IEEE1394) 対応機器が使えない	103
光デジタル対応機器	104
Q 光デジタルオーディオ出力端子に接続した機器から 音が出ない／録音できない	104
アプリケーション	106
Q アプリケーションをインストールしたい	106
Q 使わないアプリケーションを削除したい	106
Q アプリケーションのインストールができない	106
Q アプリケーションが使えない	107
Q アプリケーションが操作できなくなった	108
Q 購入時に入っていたアプリケーションを 誤って削除してしまった	108
LaLaVoice	109
Q 入力した音声为正しく認識されない	109
Q 認識結果がなかなか表示されない	109
Q 何も発声していないのに、 音声コマンドが入力されてしまう	110
Q [マイクレベルの調整] が正常に終了しない ／終了しても誤認識をする	110

メッセージ	111
Q モードパネルに「Password=」と表示された	111
Q 「入力されたパスワードが間違っています」 と表示された	111
Q 画面が青くなり、「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」から始まるメッセージが 画面一面に表示された	112
Q 次のようなメッセージが表示された	112
Q C:¥>_ のように表示された	113
Q その他のメッセージが表示された	113
その他	114
Q パソコン本体からカリカリと変な音がする	114
Q 甲高い音がする	114
Q テレビやラジオの音が聞こえてくる	114
Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい ...	115
Q パソコンが応答しない	115
Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある	116
Q 異常な臭いや過熱に気づいた！	116
Q 操作できない原因がどうしてもわからない	116
Q パソコンを廃棄したい	116

3章 再セットアップ 117

- 1 再セットアップとは 118
 - 1 再セットアップが必要なとき 118
 - 2 再セットアップする前に 118
- 2 カスタム・リカバリ CD とは 119
- 3 標準システムを復元する 120
 - 1 はじめる前に 120
 - 2 操作手順 121
- 4 アプリケーションを再インストールする 124
 - 1 操作手順 124







付録	125
ローマ字入力一覧表	126
アプリケーションのお問い合わせ先	128
プロバイダのお問い合わせ先	134
トラブルチェックシート	140
東芝PCダイヤル	140
トラブルチェックシート	142
総合さくいん	144

はじめに

本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心して
お使いいただくために』に記載されています。よくお読みください。

本書は、次のきまりに従って書かれています。

記号の意味

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡する、あるいは重傷 ^{じゅうしょう} を負う 可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害 ^{しょうがい} *1を負ったり、物的損害*2 の発生が想定される内容を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下をおこさないために守ってほ しい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示し ます。
 メモ	知っておくと便利な内容を示します。
 用語	覚えておくと役に立つ用語を示します。
 参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合… 「 」 他のマニュアルへの参照の場合… 『 』 オンラインマニュアルへの参照の場合… 《 》

*1 傷害^{しょうがい}とは、治療^{ちりょう}に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などを
さします。

*2 物的損害とは、家屋・家財にかかわる拡大損害を示します。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

本製品のシステムは、Windows XP です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME スタンダード 2002 を示します。

記載について

- ・ インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- ・ 本書に記載している画面は、実際に表示される画面と異なる場合があります。

Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ スマートメディア、LaLaVoice は (株) 東芝の登録商標です。
- ・ i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、次の操作を行うとご覧になれます。

- ① [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックする
- ② [ヘルプピックを選びます] の [リリース情報] をクリックする
- ③ 左画面の [リリース情報] をクリックする

お願い

- ・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品でのみご利用いただけます。
- ・ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1 章

Q&A 集を見る前に

- 1 トラブルを解消するまで..... 16
- 2 トラブル解消に役立つ操作..... 23

1

トラブルを解消するまで


パソコンが動かなくなった！ 今までとは違う動きをする！ なんだか変！ 不安だ！

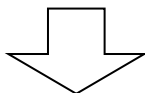
そんなときには次の順番で解決へのアプローチをたどってください。

Step 1

本書の「Q&A集」をお読みください。

パソコンについてよく問い合わせのあるトラブルの解消方法が説明されています。


 詳細について ⇨ 「2章 Q&A集」

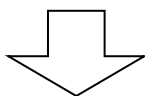


Step 2

Windows やアプリケーションのヘルプで調べてください。

Windows については、同梱の『Windows XP に付属の説明書』またはパソコン上で『ヘルプとサポート』をご覧ください。
アプリケーションについては、『各アプリケーションの付属の説明書』やヘルプをご覧ください。


 詳細について ⇨ 「本節 1 ヘルプで調べる」



Step 3

「dynabook.com」で調べてください。

「dynabook.com」で調べてみましょう。DynaBookの技術情報などが掲載されています。

 詳細について ⇨ 「本節 2 dynabook.com で調べる」

パソコン本体のトラブル

アプリケーションのトラブル

Step 4

「東芝PCダイヤル」にお問合せください。

付録の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認し、お問い合わせください。

Step 4

各アプリケーションのサポート先にお問い合わせください。

付録の「アプリケーションのお問い合わせ先」をご覧ください。



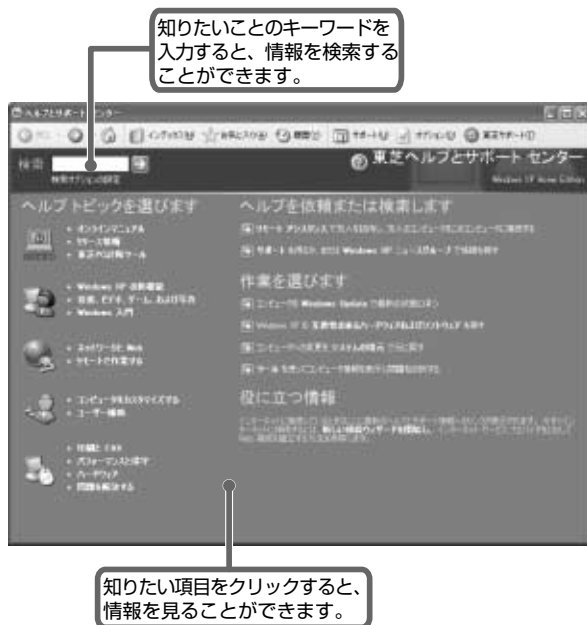
- DynaBookの故障や修理など、サポート情報については、同梱の『東芝PCサポートのご案内』をご覧ください。

1 ヘルプで調べる

Windows やアプリケーションを操作しているときに困った場合は、ヘルプで調べることで解決できる場合があります。

Windows のヘルプを見る

- 1 パソコン本体の電源を入れる
- 2 [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックする
[ヘルプとサポート] 画面が表示されます。



アプリケーションのヘルプを見る

アプリケーションのヘルプには、いくつかの種類があり、それぞれ起動方法が異なります。

ここでは、ヘルプのタイプごとに例をあげて説明します。

■ [ヘルプ] メニューから起動する

1 メニューバーから [ヘルプ] → [目次] をクリックする



■ [ヘルプ] ボタンをクリックする

1 画面の [ヘルプ] ボタンをクリックする



■ [スタート] メニューから起動する

- 1 [スタート] → [すべてのプログラム] →アプリケーション名→アプリケーションのヘルプをクリックする



■ ? をクリックする

- 1 画面右上の ? をクリックする
ポインタが ? に変わります。
- 2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする
説明文がポップアップで表示されます。

2 dynabook.com で調べる

「dynabook.com」では、DynaBookの最新情報や技術情報などを提供しています。

URL <http://dynabook.com/>

■ DynaBookのサポート情報について

次のページをご覧ください。

URL http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm
(サポート情報)



■パソコンの操作に困ったら「よくあるご質問 (FAQ)」

エフイーキュー

次のページをご覧ください。

URL http://www5.toshiba.co.jp/pcss/member/techinfo/dial/index_j.htm

日頃、お客様から寄せられている質問について、サポートスタッフが、図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。キーワードでも、普通の文章でも入力して、検索できます。



最新情報を掲載するため、内容を変更することがあります。ご了承ください。

この他、アプリケーションの取り扱い元では、ホームページに情報を掲載している場合があります。



ホームページアドレスについて

➡ 「付録 アプリケーションのお問い合わせ先」

2

トラブル解消に役立つ操作

設定をするときによく使う操作を説明します。

コントロールパネルの開きかた

設定の変更や確認によく使う [コントロールパネル] の開きかたについては、『基本をマスター 3章 7 コントロールパネルとは?』をご覧ください。

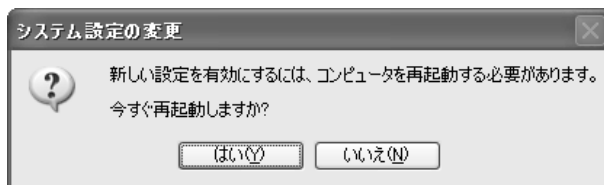
パソコンを再起動する

設定を変更した後に、設定を有効にするにはパソコンの再起動が必要な場合があります。

再起動とは、1度パソコン本体の電源を切り、自動的に再び電源を入れることです。

■ 「再起動しますか?」と表示された場合

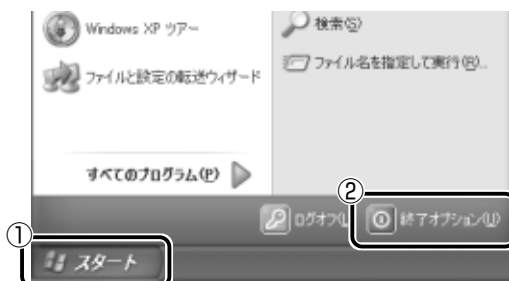
設定を変更した後に、次のようなメッセージが表示される場合があります。



- 1 [[はい] ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。

■自分で再起動する場合

1 [スタート] ①→ [終了オプション] ②をクリックする



[コンピュータの電源を切る] 画面が表示されます。


2 [再起動] をクリックする



2章 Q&A集

電源を入れるとき / 切るとき


Q 電源スイッチを押しても反応しない

- A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
Power  LED が緑色に点灯するまで押し続けてください。

Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

(Battery  LED がオレンジ色に点滅している場合)

- A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
次のいずれかの対処を行なってください。
- 本製品用の AC アダプタを接続し、電源を供給する
(他製品用の AC アダプタは使用できません)
 - 充電済みのバッテリーパックを取り付ける


 バッテリーについて

⇒ 『もっとステップアップ 1 章 1-2 バッテリーを充電する』


Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

(DC IN  LED がオレンジ色に点滅している場合)

- A 電源の接続の接触が悪い可能性があります。
バッテリーパックや AC アダプタを接続し直してください。

 バッテリーパックの取り付け / 取りはずし

⇒ 『もっとステップアップ 1 章 1-3 バッテリーパックを交換する』

 AC アダプタの接続

⇒ 『まずはこれから Windows のセットアップをしよう -
電源コードと AC アダプタを接続する』

A 保護機能が働いた可能性があります。

次の対処を行なってください。

- パソコンを涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待つ
パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、保護機能が働き、システムが自動停止します。
- 通風孔のまわりには物を置かない
通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。

以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A マルチドライブや外付けフロッピーディスクドライブが起動ドライブとして設定されている場合は、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。

CD やフロッピーディスクを、システムが入ってるものと取り換えてください。

A システムの入ってないドライブが、起動ドライブとして設定されている可能性があります。


マルチドライブや外付けフロッピーディスクドライブから CD やフロッピーディスクを取り出し、強制終了してください。その後再起動し、次の手順で設定を変更してください。

強制終了の方法は、本節「[終了オプション] から電源が切れない」をご覧ください。

- ① [コントロールパネル] を開き、「プリンタとその他のハードウェア」をクリックする
- ② [東芝 HW セットアップ] をクリックする
- ③ [OS の起動] タブの [OS の起動] で、システムが入っているドライブが最初にある項目を選択する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

❓ 画面に「DynaBook」と表示されたまま、Windowsが起動しない

- A モードパネルに「Password=」と表示されている場合は、パスワードが設定されています。
[東芝HWセットアップ] で設定したパスワードを入力し、**Enter**キーを押してください。

 ● パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

❓ 自動的に電源が入ってしまう

- A Windows のタスクスケジューラで設定されている可能性があります。タスクスケジューラで [タスクの実行時にスリープを解除する] に設定されていると、スタンバイ中や休止状態のときは自動的に電源が入り、設定したタスクを実行します。
次の手順で設定を変更できます。

- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [タスク] をクリックする
- ② 設定されているタスクをダブルクリックする
電源が入った時間などを参考に選択してください。
- ③ [設定] タブの [電源の管理] で [タスクの実行時にスリープを解除する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

A パネルスイッチ機能が設定されている可能性があります。
パネルスイッチ機能とは、ディスプレイを閉じると電源を切り、開けると電源スイッチを押さなくても自動的に電源を入れる機能です。
次の手順で、パネルスイッチ機能の設定を解除できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択して、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で [何もしない] を選択する
画面の表示例は、手順③で利用する省電力モードに [ノーマル] を選択した場合です。



- ⑤ [OK] ボタンをクリックする


🔍 **【終了オプション】から電源が切れない**

- A (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押して、電源を切ってください。
- ① (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
 - ② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、(Alt)+(U)キーを押してください。
 - ③ [コンピュータの電源を切る] をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、(U)キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- A (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押しても反応がない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。

🔍 **使用中に突然電源が切れてしまった**


- A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。
パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power  LED が点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

次の操作を行なってください。

- (Shift) キーや (Ctrl) キーを押す
- タッチパッドを操作する


A Power  LED がオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にするように設定されています。

電源スイッチを押してください。

また、次の手順で設定を解除できます。


- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [省電力] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] の設定を [なし] にする
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

 [参照](#) スタンバイ、休止状態について


➔ 『もっとステップアップ 1 章 3 パソコンの使用を中断する』

🔍 間違っって電源を切ってしまった

- A パソコンを終了する場合は、[スタート] → [終了オプション] をクリックします。

パソコンが処理をしている最中（Disk  LED が点灯中）に電源が切れてしまうと、ハードディスクが故障する場合がありますので、正しい終了手順を守ってください。

正しい終了手順に従わずに強制終了した後、パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合はチェックディスク（ハードディスクの検査）を行なってください。チェックディスクの結果、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起動します。異常があった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。


 [チェックディスクについて](#) ➔ 『オンラインマニュアル』

🔍 Windows の起動と同時にプログラムが実行される

- A [スタートアップ] にプログラムが設定されている可能性があります。
[スタートアップ] は、設定されているプログラムを Windows 起動時に自動的に実行します。

アプリケーションをインストールすると、自動的に [スタートアップ] に登録される場合があります。

次の手順でプログラムを削除できます。


- ① [スタート] ボタンを右クリックする
- ② 表示されるメニューから [開く] をクリックする
[スタート メニュー] 画面が表示されます。
- ③ [プログラム] アイコンをダブルクリックする
- ④ [スタートアップ] アイコンをダブルクリックする
[スタートアップ] 画面が表示されます。
- ⑤ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[ファイルとフォルダのタスク] の [このファイルを削除する] をクリックする
[ファイルの削除の確認] 画面が表示されます。
- ⑥ [はい] ボタンをクリックする
- ⑦ [スタートアップ] 画面の [閉じる] ボタン () をクリックする

Q パソコンが休止状態にならない

- A 休止状態に対応していない周辺機器（PC カードなど）を取り付けていると休止状態になりません。
休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてから、休止状態を実行してください。
- A [スタートアップ] に休止状態の妨げになるアプリケーションが設定されている可能性があります。
[スタートアップ] からそのアプリケーションを削除し、Windows を再起動してください。
スタートアップに登録されているアプリケーションの削除方法は、「Q. Windows の起動と同時にプログラムが実行される」をご覧ください。

Q 休止状態を設定できない

- A 休止状態の設定になっていない可能性があります。
次の手順で設定を変更してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
 - ② [東芝省電力] をクリックする
 - ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする ()
 - ④ [OK] ボタンをクリックする

 設定方法の詳細について

➔ 『もっとステップアップ 1 章 3 パソコンの使用を中断する』

画面 / 表示

❓ 画面に何も表示されない

(Power 灯 LED が消灯、またはオレンジ色に点滅している場合)

- A 電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっています。
電源スイッチを押してください。

❓ 電源が入っているが、画面に何も表示されない

(Power 灯 LED が緑色に点灯している場合)

- A 表示自動停止機能が働いた可能性があります。
次の操作を行ってください。

- (Shift) キーや (Ctrl) キーを押す
- タッチパッドを操作する



- CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがありますが、故障ではありません。

- A 模様なしのスクリーンセーバが実行されている可能性があります。
次の操作を行ってください。

- スクリーンセーバパスワードを設定していない場合
(Shift) キーや (Ctrl) キーを押すか、タッチパッドを操作する
- スクリーンセーバパスワードを設定している場合
 - ① (Shift) キーや (Ctrl) キーを押すか、タッチパッドを操作する
パスワード入力画面が表示されます。
 - ② パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする





パスワードの入力について

- ➡ 『もっとステップアップ 2 章 2-2 スクリーンセーバにパスワードを設定する』

- A** 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。
次の操作を行なってください。

- (Fn) + (F5) キーを押して表示装置を切り替える
(Fn) + (F5) キーを3秒以上押し続けると、表示装置がLCDに切り替わります。

 詳細について  『もっとステップアップ 3章 5 テレビを接続する』
『もっとステップアップ 3章 8 CRTディスプレイを接続する』

画面が見にくい

- A** ディスプレイを見やすい角度に調整してください。

画面が暗い

- A** (Fn) + (F7) キーを押して、画面の輝度を明るくしてください。
逆に、(Fn) + (F6) キーを押すと、画面の輝度は暗くなります。

A 画面の輝度が低く設定されている可能性があります。

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択して、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [省電力] タブで [モニタの輝度] を設定する
画面の表示例は、手順③で利用する省電力モードに [ノーマル] を選択した場合です。



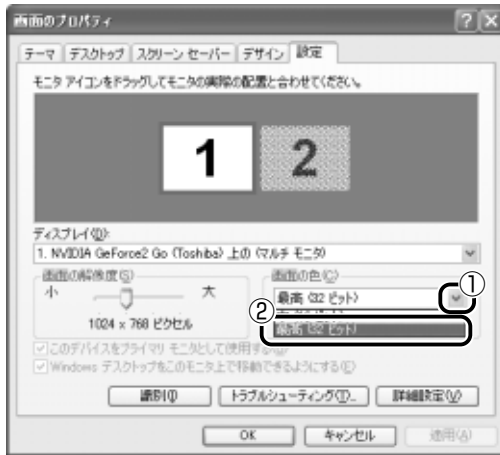
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

設定を変更しても明るくならない場合は、ディスプレイに取り付けられているサイドライト用のFL管（冷陰極管）が消耗している可能性があります。サイドライト用のFL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。その場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。

❓ 画面の色がはっきりしない

A 色数が少ない場合に起こります。
色数の種類は「中（16ビット）」「最高（32ビット）」から選択します。
次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- ② [画面] をクリックする
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [設定] タブで [画面の色] を「最高（32ビット）」に設定する



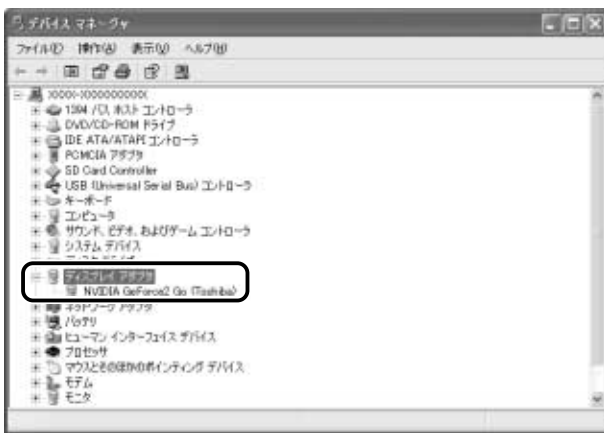
- ④ [OK] ボタンをクリックする


🔍 【画面のプロパティ】で【画面の解像度】や【画面の色】を変更できない


A 【ディスプレイ】の設定があていない可能性があります。
次の手順で確認してください。

- ① 【コントロールパネル】を開き、【パフォーマンスとメンテナンス】をクリックする
- ② 【システム】をクリックする
【システムのプロパティ】画面が表示されます。
- ③ 【ハードウェア】タブの【デバイスマネージャ】ボタンをクリックする
【デバイスマネージャ】画面が表示されます。
- ④ 【ディスプレイアダプタ】をダブルクリックする
- ⑤ 【NVIDIA GeForce2 Go(TOSHIBA)】が正しく接続されているか確認する

正しく接続されていない場合は、「アプリケーションCD」からディスプレイアダプタを再インストールしてください。



- ⑥ 【デバイスマネージャ】画面で【閉じる】ボタン () をクリックする
- ⑦ 【システムのプロパティ】画面で【OK】ボタンをクリックする

 参照 再インストールについて

☞ 「3章 4 アプリケーションを再インストールする」

Q CRTディスプレイで画面の色がにじんだように表示される

A テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品の近くに設置している場合は、遠ざけてください。



- 高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。

🔍 【スタート】 ボタン／タスクバーを表示したい

A タスクバーの幅を狭く設定している可能性があります。
次の手順で幅を変更してください。

- ① ポインタを画面の端に持っていく
タスクバーは画面の上下左右の端に配置することができます。
タスクバーが表示されていた位置にポインタを移動してください。
ご購入時の状態では、タスクバーは画面下にあります。
- ② ポインタの形状が上下の矢印（↓）または左右の矢印（↔）に
変わったら、ポインタを画面の内側の方向にドラッグする
- ③ 適度な位置でドロップする

タスクバーの位置を変更できない場合は、[タスクバーを固定する] という設定になっている可能性があります。

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- ② [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックする
[タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [タスクバー] タブの [タスクバーのデザイン] で [タスクバーを固定する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

A タスクバーが「自動的に隠す」という設定になっている可能性があります。次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックする
- ② [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックする
[タスクバーと [スタート] メニューのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [タスクバー] タブの [タスクバーのデザイン] で [タスクバーを自動的に隠す] のチェックをはずす



- ④ [OK] ボタンをクリックする

Q 使用していたウィンドウが消えてしまった

A 他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっている可能性があります。タスクバーに表示されている、使用していたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックすると、一番手前に表示されます。

Q ウィンドウが画面から切れて表示されている

A ウィンドウの位置が画面の端にずれています。次の手順で調節してください。

- ① ポインタをタイトルバーにあわせる
- ② 上下左右方向にドラッグする
- ③ 適度な位置でドロップする


ファイルを保存した場所がわからなくなった

A [検索] 機能を使って次の手順で検索してください。

- ① [スタート] → [検索] をクリックする
[検索結果] 画面が表示されます。
- ② [何を検索しますか?] で、探したいファイルの種類に当てはまる項目をクリックする
 - [画像、ミュージック、またはビデオ]
画像、音楽、動画のファイルを検索できます。
 - [ドキュメント (ワープロ、スプレッドシート、など)]
文書のファイルを検索できます。
 - [ファイルとフォルダすべて]
すべてのファイルとフォルダを検索できます。
ファイルの種類がわからないときはこの項目を選択してください。
 - [コンピュータまたは人]
ネットワーク上のコンピュータや、アドレス帳に登録している人を検索できます。
- ③ 画面の指示に従って、探したいファイルの条件を設定する
ファイル名やファイルに含まれる単語などを入力する場合、1文字でも検索できます。ただし、指定した文字を含むすべてのファイルやフォルダが表示されるので、ある程度の文字を入力した方が効率的です。
- ④ [検索] ボタンをクリックする
ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示されます。
- ⑤ 目的のファイルが表示されたら、ファイル名をダブルクリックして開く
目的のファイルが検索されなかった場合は、[戻る] ボタンをクリックするか、[いいえ、この検索を設定し直します] で当てはまる項目をクリックして、ファイル名や探す場所など条件を変更してから、もう1度検索してください。

❓ 内蔵時計が合っていない

A 次の手順で [日付と時刻] を修正してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[日付、時刻、地域と言語のオプション] をクリックする
- ② [日付と時刻を変更する] をクリックする
[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [日付と時刻] タブの [時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする
「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。
- ④ デジタル時計の右端にある上下のボタン () で、時刻の修正を行う
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

A 長い間パソコンを使用しないと時計用バッテリーの充電が不十分になります。
パソコン本体に AC アダプタを接続し、時計用バッテリーを充電してください。


A 充電してもしばらくすると内蔵時計が合わなくなる場合は、時計用バッテリーの充電機能が低下している可能性があります。
お近くの保守サービスにご連絡ください。

🔍 パソコンの処理速度が遅くなった

- A 「東芝省電力ユーティリティ」の設定で、バッテリー残量に応じてCPUの処理速度が切り替わった可能性があります。また、ご購入時の状態の省電力モードは、ACアダプタを接続しているときは [フルパワー]、バッテリー駆動で使用するときは [ノーマル] に設定されていますので、ACアダプタ接続時に比べてバッテリー駆動時のパソコンの処理速度は遅くなります。

CPUの処理速度は次の手順で変更できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
[東芝省電力のプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ 利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [省電力] タブで次の項目を設定する
 - [CPUの処理速度] で、バッテリー残量に応じた処理速度をスライダバーで設定する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

 省電力モードについて

🔗 『もっとステップアップ 1章 2 省電力の設定をする』

- A パソコンのCPUが高温になり、自動的に処理速度が遅くなった可能性があります。しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり処理速度が元に戻ります。
- A ハードディスクの空き容量が少なくなり、処理速度が遅くなった可能性があります。不要なファイルなどを削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

🔍 フォルダやファイルの名前を変えたい

A 次の手順で名前を変更します。


- ① 変更したいフォルダやファイルのアイコンを右クリックする
- ② 表示されるメニューの [名前の変更] をクリックする
名前の部分が反転表示されます。
- ③ 名前を変更する

ご自分で作成したファイルやフォルダ以外は変更しないでください。変更するとシステムやアプリケーションが正常に動作しなくなります。次のフォルダやファイルは、Windows や各アプリケーションが使用しますので、名前を変更しないでください。

- [Windows] フォルダと、その内容 (フォルダやファイル)
[Windows] フォルダの名前は変更できません。
- [Program Files] フォルダと、その内容 (フォルダやファイル)
[Program Files] フォルダの名前は変更できません。
- [Documents and Settings] フォルダと、その内容 (フォルダやファイル) のうち、ご自分で作成したファイルやフォルダ以外のもの
- [マイドキュメント] フォルダ ([My Documents] フォルダ)
- [My eBooks] フォルダ
- [マイミュージック] フォルダ
- [マイピクチャ] フォルダ


Windows Update ができない

- A** インターネットに接続する設定をしているか確認してください。
Windows Update は、インターネット経由で行われるため、インターネットへの接続が必要です。

 インターネットへの接続

▷ 『まずはこれから インターネットに接続しよう』

- A** モジュラーケーブルが正しく接続されているか確認してください。

 モジュラーケーブルの取り付け

▷ 『まずはこれから インターネットに接続しよう・パソコンと電話回線を接続する』

- A** Windows ユーザ登録をしているか確認してください。
Windows Update を利用するには、マイクロソフト社への Windows ユーザ登録が必要です。

 Windows ユーザ登録 ▷ 『まずはこれから ユーザ登録をする』

バッテリー駆動で使用するとき


Q Battery LED が点滅した

A バッテリーの充電量が残り少ない状態です。
ただちに次のいずれかの対処を行なってください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

休止状態が無効の場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、作業中のデータが消失するおそれがあります。休止状態を有効にしておくことをおすすめします。ご購入時は有効に設定されています。また、データはこまめに保存してください。


 バッテリーの充電方法

⇒ 『もっとステップアップ 1 章 1-2 バッテリーを充電する』

Q 充電したはずのバッテリーパックを使用しても Battery LED がオレンジ色に点滅する

A バッテリーパックは使わずにいても充電量が少しずつ減っていきます。
もう 1 度充電してください。

充電しても状態が変わらない場合は、バッテリーパックの充電機能が低下している可能性があります。別売りのバッテリーパックと交換してください。それでも状態が変わらない場合は、パソコン本体が故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

 バッテリーの充電量について

⇒ 『もっとステップアップ 1 章 1-1 バッテリー充電量を確認する』

🔍 バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる

A 一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にし、システムの動作をオフにするように設定されています。設定を解除してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [東芝省電力] をクリックする
[東芝省電力のプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [電源設定] タブでバッテリー駆動中に使用する省電力モードをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [省電力] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] の設定を [なし] にする
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

キーボード


Q キーを押しても文字が表示されない

- A システムが処理中の可能性があります。
ポインタが砂時計の形 (⌚) をしている間は、システムが処理をしている状態のため、キーボードやタッチパッドなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう

- A 文字を入力しているときに誤ってタッチパッドに触れると、カーソルがとんだり、アクティブウィンドウが切り替わってしまうことがあります。次の手順で、文字を入力している間はタッピング機能が効かないように設定してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [マウス] をクリックする
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。
 - ③ [タッチ] タブの [パームチェック] でスライダーバーを [最大] に合わせる
 - ④ [OK] ボタンをクリックする

Q 「\」(バックslash)が入力できない

- A 日本語フォントでは「\」は入力できません。
 を押すと¥が表示されますが、「\」と同じ機能を持ちます。

Q ひらがなや漢字の入力ができない

- A 日本語入力システムが起動していない状態になっています。
(半/全)キーを押してください。日本語入力システムが起動すると、MS-IME ツールバーが次のように表示されます。



参照 詳細について ⇨ 『基本をマスター 4章 3-1 日本語を入力するには』

Q キーボードで入力モードを切り替えたい

- A 次のショートカットキーを利用して入力モードを変更できます。
- (Shift) + (Caps Lock 英数) キー：大文字ロック状態
 - (Alt) + (カタカナひらがな) キー：ローマ字入力/かな入力
 - (Fn) + (F10) キー：アロー状態
 - (Fn) + (F11) キー：数字ロック状態

参照 詳細について ⇨ 『基本をマスター 4章 3 文字を入力する』

『もっとステップアップ
2章 1 キーボードのいろいろな使いかた』

Q 記号や特殊文字が入力できない

- A 次の手順で文字コード表から希望の文字を探してください。
- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [文字コード表] をクリックする
[文字コード表] 画面が表示されます。
 - ② [フォント] を選択し、[文字コード表] の使用したい文字をクリックして [選択] ボタンをクリックする
[コピーする文字] の欄に指定した文字が入力されます。
 - ③ [コピー] ボタンをクリックする
 - ④ 文書を開いているアプリケーションのメニューから [編集] → [貼り付け] をクリックする
文書に手順②で指定した文字が挿入されます。挿入された文字には、手順②で選択したフォントを指定してください。

- A** MS-IME には [IME パッド] という機能があります。
この一覧から希望の文字を探すことができます。

 詳細について

➔『基本をマスター 4章 3-9- 読みかたがわからない文字を入力する』

Q キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

- A** キーボードドライバの設定が正しくない可能性があります。
次の手順でドライバを再設定してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ④ [キーボード] の左の **+** をクリックし、表示されたキーボードドライバ名をダブルクリックする
キーボードのプロパティ画面が表示されます。
- ⑤ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] ボタンをクリックする
[ハードウェアの更新ウィザード] 画面が表示されます。
- ⑥ [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ⑦ [検索しないで、インストールするドライバを選択する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ⑧ [互換性のあるハードウェアを表示] のチェックをはずす
[製造元] と [モデル] の一覧が表示されます。
- ⑨ [製造元] から [(標準キーボード)]、[モデル] から [日本語 PS/2 キーボード (106 / 109 キー Ctrl + 英数)] を選択して、[次へ] ボタンをクリックする
[デバイスのインストールの確認] 画面が表示されます。
- ⑩ [はい] ボタンをクリックする
ドライバがインストールされ、[ハードウェアの更新ウィザード] の完了] 画面が表示されます。
- ⑪ [完了] ボタンをクリックする
- ⑫ キーボードのプロパティ画面で [閉じる] ボタンをクリックする
[システム設定の変更] 画面が表示され、「今コンピュータを再起動しますか?」というメッセージが表示されます。


- ⑬ [はい] ボタンをクリックする
パソコンが再起動します。

Q どのキーを押しても反応しない 設定は合っているが、希望の文字が入力できない

A 次の手順で [終了オプション] から再起動してください。

- ① [スタート] → [終了オプション] をクリックする
- ② [再起動] を選択する

A [終了オプション] から再起動できない場合は、(Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押して、再起動してください。この場合、保存していない作成中のデータは消去されます。

 (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーでの再起動について
↳ 「本章 その他-Q. パソコンが応答しない」

A (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押して再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。電源が切れます。この場合、保存していないデータ作成中のデータは消去されます。
しばらくしてから電源を入れ直してください。

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。もし、液体がパソコン内部に入ったときは、電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずして、ただちにお買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

Q キーを押し続けたときの文字入力の変えたい

A 次の手順で [キーボードのプロパティ] の設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [キーボード] をクリックする
[キーボードのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [速度] タブの [表示までの待ち時間] や [表示の間隔] のつまみをドラッグして調節する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

Q キーボードのショートカットキーの一覧を見たい

A 次の手順で一覧を表示できます。

- ① [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックする
[ヘルプとサポートセンター] が起動します。
- ② [ヘルプトピックを選びます] で [コンピュータをカスタマイズする] をクリックする
- ③ [キーボードとマウス] をクリックする
- ④ [Windows ショートカットキーの概要] をクリックする
いろいろなショートカットキーについてのタイトルの一覧が表示されます。
- ⑤ 知りたいタイトルをクリックする
説明が表示されます。

Q ファンクションキーの使いかたは？

A キーボードの上段にあるファンクションキーには便利な機能があります。ただし、割り振られている機能の多くはアプリケーションごとに違いがあります。『各アプリケーションに付属の説明書』で確認してください。多くのアプリケーションでは、次のように割り振られています。

- ①..... ヘルプの呼び出し
- ②..... ファイル名の変更
- ③..... ファイルの検索
- ⑤..... 最新の状態に更新
- ⑥..... ひらがなに変換
- ⑦..... 全角カタカナに変換
- ⑧..... 半角カタカナに変換
- ⑨..... 全角アルファベットに変換
- ⑩..... 半角アルファベットに変換

タッチ패드／マウス

* マウスは別売りです。

Q タッチ패드やマウスを動かしても画面のポインタが動かない（反応しない）

- A システムが処理中の可能性があります。
ポインタが砂時計の形（⌚）をしている間は、システムが処理中のため、タッチ패드、マウス、キーボードなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。
- A マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。マウスのプラグを正しく接続してください。
マウスの接続については、『マウスに付属の説明書』をご覧ください。

Q ダブルクリックがうまくできない

- A 次の手順で、ダブルクリックの速度を自分に合った速度に調節してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [マウス] をクリックする
[マウスのプロパティ] 画面が表示されます。
 - ③ [ボタン] タブで [ダブルクリックの速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
 - ④ [OK] ボタンをクリックする

🔍 ポインタの動きが遅い／速い

A 次の手順でポインタの速度を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [マウス] をクリックする
- ③ [ポインタオプション] タブで [速度] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

A マウス内部が汚れていないか確認してください。
マウス内部が汚れていると動きが鈍くなります。マウスを使用している場合は、マウス内部の掃除を行なってください。
マウスのお手入れについては、『マウスに付属の説明書』をご覧ください。

🔍 USB マウスが使えない


A 新しいハードウェアとして認識されていない可能性があります。
次の手順で [新しいハードウェアの追加ウィザード] を実行してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [関連項目] の [ハードウェアの追加] をクリックする
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
- ③ [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

CD / DVD

Q CD / DVD にアクセスできない


- A ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。

 参照 CD / DVD のセット

▷ 『基本をマスター 7章 7-2 CD / DVD のセットと取り出し』

- A CD / DVD がきちんとセットされていない場合は、ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。
- A ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。
- A CD / DVD が汚れている場合は、乾燥した清潔な布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

 参照 CD / DVD のお手入れ ▷ 『基本をマスター 8章 1- CD / DVD』

- A CD / DVD を認識していない可能性があります。
CD-ROM  LED が点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう 1 度アクセスしてください。

Q CD-ROM LED が消えない

- A データを処理している
大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LEDが消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、(Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押して再起動してください。
再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押し、電源を切ってから、もう1度電源を入れてください。
再起動後、作業を行い、LEDが消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスにご連絡ください。

Q CD / DVD をセットしても自動的に起動しない

- A 自動起動に対応していないCD / DVD を挿入している可能性があります。自動起動に対応していないCD / DVD は自動起動できません。『CD / DVD に付属の説明書』などで確認してください。
対応していないときは、次の手順で起動することができます。
- ① [スタート] メニューの [マイコンピュータ] をクリックする
 - ② ドライブのアイコンをダブルクリックする

Q 正しく動作する CD / DVD もあるが、動作しない CD / DVD もある

- A 使用環境の設定が必要なCD / DVD を使用している可能性があります。各CD / DVD によって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『CD / DVD に付属の説明書』を読んで、それぞれのCD に合った環境を設定してください。
- A 読み取れないCD-R、CD-RW をセットしている可能性があります。CD-R、CD-RW には、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。


Q CD-ROMのデータを読み出せない 音楽CDの再生中に音飛びする

- A CD-ROM、音楽CDが正しくセットされていない可能性があります。
CD-ROM、音楽CDの表裏を確認し、水平にセットしてください。

参照  CDのセット

⇒『基本をマスター 7章 7-2 CD / DVDのセットと取り出し』

- A CD-ROM、音楽CDが汚れている可能性があります。
乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてください。

参照  CD / DVDのお手入れ ⇒『基本をマスター 8章 1- CD / DVD』

- A CD-ROM、音楽CDに傷がついていないか確認してください。
傷ついているCD-ROM、音楽CDは使えないことがあります。

- A CD-ROMがシステムに対応していない可能性があります。
アプリケーションなどのCD-ROMは、使用できるシステム(OS)が
限られている場合があります。
『CD-ROMに付属の説明書』をご覧ください。

Q 再生中の動画がとぎれる 動画がなめらかに再生されない

- A DVD-Video再生時は、ACアダプタを接続してください。
また、使用するDVDディスクのタイトルによってはコマ落ちするケースがあります。
- A CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいる可能性があります。
CD-ROM、DVD-Videoからデータを読み込んでいるときは、再生が止まる場合があります。
- A 動画の再生中に、他のアプリケーションを実行していないか確認してください。
複数のアプリケーションを同時に使うと、動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなります。他のアプリケーションを終了してください。

- A 動画の再生中にウィンドウの大きさや位置を変更すると、音飛びや画像の乱れの原因になります。

Q CD / DVD が取り出せない


- A パソコン本体またはドライブの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。
電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

 CD / DVD の取り出し

☞『基本をマスター 7章 7-2 CD / DVD のセットと取り出し』

Q パソコン本体またはドライブの電源が入らないため、CD / DVD が取り出せない

- A ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押してください。イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。
折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。電源が入らないとき以外は、この処置をしないでください。特に、パソコンの動作中はしないでください。

 イジェクトホール

☞『基本をマスター 7章 7-2 CD / DVD のセットと取り出し』

サウンド機能

Q スピーカから音が聞こえない

A ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続したままになっていませんか？
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。

A パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節してください。

A スピーカの設定が [ミュート] になっている可能性があります。
次の手順で変更してください。


● 方法 1

- (Fn) + (Esc) キーを押す

● 方法 2


- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
 - ② [スピーカーの設定を変更する] をクリックする
[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] 画面が表示されます。
 - ③ [音量] タブの [デバイスの音量] で [ミュート] にチェック (☑) がついている場合は、チェックをはずす
 - ④ つまみをドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。
- A 標準の [優先するデバイス] が変更されている可能性があります。
次の手順で設定を変更してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
 - ② [サウンドとオーディオデバイス] をクリックする
[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] 画面が表示されます。
 - ③ [オーディオ] タブの [音の再生] で [既定のデバイス] を正しく設定する
 - ④ [OK] ボタンをクリックする

- A** 上記の操作を行っても音量が変わらなければ、標準のサウンド用デバイスドライバが壊れているか、誤って消去された可能性があります。付属の「アプリケーションCD」からサウンド用デバイスドライバ「YAMAHA AC-XG WDM Audio」を再インストールしてください。

 再インストールについて

↳ 「3章 4 アプリケーションを再インストールする」

サウンドレコーダーで音楽CDからうまく録音できない

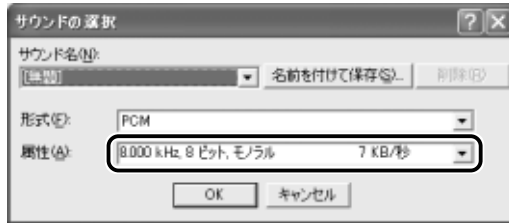
- A** 次の手順でボリュームコントロールの設定を変更してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
 - ② [関連項目] の [詳細ボリュームコントロール] をクリックする [ボリュームコントロール] 画面が表示されます。
 - ③ メニューバーから [オプション] → [プロパティ] をクリックする
 - ④ [音量の調整] で [録音] をチェックする ()
 - ⑤ [表示するコントロール] で [CD オーディオ] をチェックする ()
 - ⑥ [OK] ボタンをクリックする
 - ⑦ [レコーディングコントロール] 画面で [CD オーディオ] の [選択] をチェックする ()

サウンドレコーダーで録音したが音質がよくない

- A** 次の手順で録音時のサンプリング周波数を変更してください。
- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテイメント] → [サウンドレコーダー] をクリックする [Sound- サウンドレコーダー] 画面が表示されます。
 - ② [ファイル] → [プロパティ] をクリックする [Soundのプロパティ] 画面が表示されます。
 - ③ [詳細] タブで [形式の変換] の [変換] ボタンをクリックする [サウンドの選択] 画面が表示されます。

④ [属性] 欄で属性を選択する

CD の音質の場合、属性は [44.100kHz、16ビット、ステレオ] です。これを目安に属性を選択してください。ただし高音質にすると、データ量が増大し、録音できる時間は短くなります。例えば外部マイクを使用して録音するときは属性をモノラルに設定するなど、なるべくデータ容量を少なくしてください。



⑤ [名前を付けて保存] ボタンをクリックする

[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

⑥ [新しいファイル名] に名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする

⑦ [サウンドの選択] 画面、[Soundのプロパティ] 画面をそれぞれ [OK] ボタンをクリックして閉じる

[Sound- サウンドレコーダー] の画面に戻ったら、実際に録音して再生音を確認してください。



- サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、[サウンド名] は既定値に戻ります。もう1度設定し直してください。

Q サウンド再生時に音飛びが発生する



PC カード接続のハードディスクドライブまたはマルチドライブの動作中にサウンドの再生を行うと、音飛びが発生する場合があります。

インターネット接続

Q モジュラーケーブルを接続したらテレビやラジオの音が聞こえてきた

- A モジュラーケーブルを延長してパソコン本体と電話回線を接続している場合、モジュラーケーブルがテレビ・ラジオの音を拾ってしまうことがあります。標準のモジュラーケーブルを使用するか、ノイズ除去がついたケーブルを使用してください。

Q 「接続を確立できません」、「このドメインにアクセスできませんでした」、「サーバーは要求したアドレスを拒否しました」と表示された

- A 次の項目の設定に間違いがあると、上記のエラーメッセージが表示され、接続できません。

- ダイアルアップ時のユーザID
- ダイアルアップ時のパスワード
- IPアドレス
- ネームサーバアドレス

次の手順でそれぞれの設定を確認してください。

- ① [スタート] → [接続] → [XX (接続先)] をクリックする
[XX (接続先) へ接続] 画面が表示されます。
- ② [ユーザー名] が正しく入力されているか確認し、間違っていたら入力し直す
- ③ [パスワード] 欄をクリックし、パスワードを入力する
パスワードは入力すると「***」で表示されているため、画面上では確認できません。大文字と小文字など、キーボードの入力状態を確認して入力してください。
- ④ [ダイアル] ボタンをクリックする
接続をやり直します。もう1度同じメッセージが表示される場合は、次の設定を確認してください。
- ⑤ [XX (接続先) へ接続] 画面で [プロパティ] ボタンをクリックする
[XX (接続先) プロパティ] 画面が表示されます。

- ⑥ [ネットワーク] タブで [この接続は次の項目を使用します] の [インターネット プロトコル (TCP/IP)] がチェックされているか確認する
- ⑦ [インターネット プロトコル (TCP/IP)] が反転している状態で [プロパティ] ボタンをクリックする
- ⑧ [次の IP アドレスを使う] の設定と、[次の DNS サーバーのアドレスを使う] の設定を確認する
設定できない IP アドレスを指定しているか、DNS サーバーのアドレスを指定するのを忘れていた可能性があります。IP アドレスなどの指定はプロバイダにより異なります。契約先のプロバイダに連絡し、設定状態に問題がないか確認してください。
- ⑨ [インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑩ [XX (接続先) プロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

A [インターネットプロトコル(TCP/IP)] が組み込まれていない場合は、次の手順で組み込んでください。

- ① [スタート] → [接続] → [XX (接続先)] をクリックする
[XX (接続先)へ接続] 画面が表示されます。
- ② [XX (接続先)へ接続] 画面で [プロパティ] ボタンをクリックする
- ③ [ネットワーク] タブで [この接続は次の項目を使用します] に、インターネットプロトコル (TCP/IP) が組み込まれているか確認し、表示されていない場合は、[インストール] ボタンをクリックする
[ネットワークコンポーネントの種類を選択] 画面が表示されます。
- ④ [プロトコル] をクリックし、[追加] ボタンをクリックする
[ネットワークプロトコルの選択] 画面が表示されます。
- ⑤ [ネットワークプロトコル] で [TCP/IP] を選択する
- ⑥ [OK] ボタンをクリックする
- ⑦ [XX (接続先) プロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

🔍 回線が突然切断された

A キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。もう 1 度接続し直してください。

また、次の手順でキャッチホン機能を解除できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [電話とモデムのオプション] をクリックする
- ③ [ダイヤル情報] タブで [所在地] を選択し、[編集] ボタンをクリックする
[所在地の編集] 画面が表示されます。
- ④ [全般] タブで [キャッチホン機能を解除するための番号] をチェックし、 ボタンをクリックして [* 70.] を選択する
通常は [* 70.] です。適切な番号については、ご契約の電話会社にお問い合わせください。
- ⑤ [所在地の編集] 画面で [OK] ボタンをクリックする

A [TOSHIBA Software Modem AMRのプロパティ] で [切断するまでの待ち時間] にチェックがついている可能性があります。

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [電話とモデムのオプション] をクリックする
- ③ [モデム] タブで [TOSHIBA Software Modem AMR] をクリックして [プロパティ] ボタンをクリックする
[TOSHIBA Software Modem AMRのプロパティ] 画面が表示されます。
- ④ [詳細設定] タブで [既定の設定を変更] ボタンをクリックする
- ⑤ [全般] タブで [切断までの待ち時間] にチェックがあるときは、チェックをはずす

A PCカード接続のハードディスクドライブやマルチドライブなどの動作中に通信回線が切断されたり、速度が遅くなる場合があります。
この場合、動作が終了するまで待って、もう 1 度接続し直してください。

A コマンドの設定を変更してください。

次の手順で設定を変更できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [電話とモデムのオプション] をクリックする
- ③ [モデム] タブで接続に使用するモデムを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
- ④ [詳細設定] タブで [追加の初期化コマンド] に半角で次のように入力する
 - 初期状態 (V.90 モード) の場合 : -V90=1
または 何も記入しない
 - V.34 モードにする場合 : -V90=0V.34 モードを使用するのは、V.90 モードで接続できない場合のみにしてください。それ以外は、初期状態 (V.90 モード) に戻してください。
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [電話とモデムのオプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Q [XX (接続先) に接続しています ...] 画面がしばらく続いた後、「リモートコンピュータが応答しませんでした」と表示された

A [ダイヤルアップ] の電話番号の設定が間違っている可能性があります。次の手順で確認してください。

- ① [スタート] → [接続] → [XX (接続先)] をクリックする
[XX (接続先) へ接続] 画面が表示されます。
- ② [プロパティ] ボタンをクリックする
[XX (接続先) プロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [全般] タブで [電話番号] が正しいか確認する
- ④ [XX (接続先) プロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [ダイヤル] ボタンをクリックする
変更した設定が有効になります。すぐに接続する必要がない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。

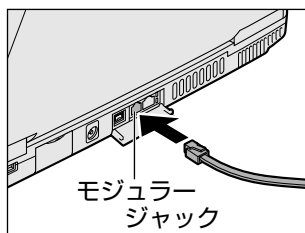
A 「電話とモデムのオプション」の電話番号の設定が間違っている可能性があります。


次の手順で確認してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [電話とモデムのオプション] をクリックする
[電話とモデムのオプション] 画面が表示されます。
- ③ [ダイヤル情報] タブで [所在地] を選択し、[編集] ボタンをクリックする
- ④ [全般] タブで次の点を確認する
 - ダイヤル元の [市外局番] を正しく設定しているか
携帯電話 / PHS を使用して通信する場合は、市外局番に 0000 (実在しない市外局番) を設定してください。
 - 外線発信番号に不要な数字が登録されていないか
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする

Q 「発信音がありませんでした」と表示された

A モジュラージャックにモジュラーケーブルが接続されていない可能性があります。モジュラーケーブルの接続を確認してください。



参照  モジュラーケーブルの取り付けについて

☞ 『まずはこれからインターネットに接続しよう-パソコンと電話回線を接続する』

A 内蔵モデム装置が故障した可能性があります。落雷などの影響で内蔵モデム装置が故障した場合でも、「発信音が聞こえません」とエラーメッセージが表示されることがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。

Q 「電話回線はビジーです」と表示された

- A モデムを使う他のアプリケーションが終了していない可能性があります。モデムを使用している他のアプリケーションを終了させてから、もう1度接続してください。
- A 電話回線が混雑している可能性があります。時間帯によっては、プロバイダが所有している電話回線が混雑して接続できないことがあります。何度か連続して接続してみるか、時間をずらして接続し直してください。それでもうまくいかない場合はアクセスポイントを変更してみてください（アクセスポイントはプロバイダにお問い合わせください）。
- A 0 発信など内線／外線の区別がある電話回線で使用している場合の設定がされていない可能性があります。設定を行う前に、次のことを確認してください。
- 0 発信で外線接続する回線で接続する場合、専用の電話機以外では接続できない場合があります。
 - 構内交換機（PBX）を介した電話回線は、直接モデム装置を接続できない場合があります。詳しくは PBX 設置業者や PBX 装置のお取り扱い元にご確認ください。

次の設定を行なってください。

- ダイヤルとモデムの設定
 - ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [電話とモデムのオプション] をクリックする
 - ③ [ダイヤル情報] タブで [編集] ボタンをクリックする
 - ④ [全般] タブで [市内通話の場合の外線発信番号]、[市外通話の場合の外線発信番号] にそれぞれ電話をかけるときに押す番号（0 発信の場合「0（ゼロ）」）を半角で入力し、[OK] ボタンをクリックする
[電話とモデムのオプション] 画面に戻ります。
 - ⑤ [モデム] タブで接続に使用するモデムを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。
 - ⑥ [モデム] タブで [発信音を待ってからダイヤルする] のチェックをはずし、[OK] ボタンをクリックする
 - ⑦ [電話とモデムのオプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする

- ダイアルアップネットワークの設定
- ① [スタート] → [接続] → [XX (接続先)] をクリックする
[XX (接続先) へ接続] 画面が表示されます。
- ② [プロパティ] ボタンをクリックする
- ③ [全般] タブで [ダイアル情報を使う] がチェックされているか確認する
- ④ [XX (接続先) プロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

モデムの設定を購入時の状態に戻したい

A [ハイパーターミナル] を利用して設定ができます。

次の手順で操作してください。

この操作では実際に電話発信はしませんので、モデムに電話線を接続する必要はありません。

- ポート番号の確認
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [電話とモデムのオプション] をクリックする
- ③ [モデム] タブで使用しているモデム名をクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする
- ④ [モデム] タブで [ポート] を確認し、[OK] ボタンをクリックする
ハイパーターミナルが扱えるポート番号は COM1 ~ COM4 です。ご使用のモデムが COM5 以降のポート番号に割り当てられている場合は操作できません。COM1 ~ COM4 にポートを割り当て直してください。
- ハイパーターミナルの設定
- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル] をクリックする
[既定の telnet プログラム?] 画面が表示されます。
- ② [はい] ボタンをクリックする
[接続の設定] 画面が表示されます。
- ③ [名前] を入力し、[OK] ボタンをクリックする
- ④ [接続方法] を、モデムを割り当てているポート番号に設定する
例えば、COM2 に割り当てている場合は [COM2] になります。
[COM XX] を選択すると同時に、国/地域番号、市外局番および電話番号の入力はできなくなります。

- ⑤ [COM XXのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ ハイパーターミナルの白い画面に、「AT&F&W」と入力する
- ⑦ (Enter)キーを押す
[OK] と表示されます。
- ⑧ メニューバーから [ファイル] → [ハイパーターミナルの終了] をクリックする
- ⑨ [切断してもよろしいですか?] と表示されたら [はい] ボタンをクリックする
- ⑩ [”XX (手順③で入力した名前)” と名前付けられた接続を保存しますか?] と表示されたら [いいえ] ボタンをクリックする

Q 複数のユーザでメールやインターネットを使いたい

- A ユーザアカウントを追加すると、Internet Explorerのお気に入りや履歴、Microsoft Outlookの設定、デスクトップの設定などをユーザごとに使い分けることができます。
次の手順で設定してください。

- ユーザアカウントを追加する
- ① [コントロールパネル] を開き、[ユーザーアカウント] をクリックする
[ユーザーアカウント] 画面が表示されます。
- ② [新しいアカウントを作成する] をクリックする
- ③ [新しいアカウントの名前の入力] に、追加したいユーザ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックする
- ④ [アカウントの種類を選びます] で [コンピュータ管理者] または [制限] のいずれかを選択する
ポイントを項目にあわせると、それぞれの種類でできることの説明が表示されます。
- ⑤ [アカウントの作成] ボタンをクリックする
[ユーザーアカウント] 画面に、ユーザーアカウントが追加されます。確認してください。

- ユーザアカウントを切り替える
ユーザアカウントの切り替えには、次の方法があります。
 - Windows の起動時に切り替える
 - Windows 使用中にプログラムを終了して切り替える
 - Windows 使用中にプログラムを終了せずに切り替える
現在のユーザが使用しているプログラムを終了せずに、ユーザアカウントを切り替えることができます。使い終わった後にユーザアカウントを元に戻すと、元のユーザがログオフする前の状態が再現されます。あらかじめ設定が必要です。

次の手順で行なってください。

- Windows の起動時に切り替える
 - ① 電源スイッチを押す
[開始するにはユーザー名をクリックしてください。] 画面が表示されます。
 - ② 使用したいユーザのアイコンをクリックする
選択したユーザのアカウントでログオンします。
- Windows 使用中にプログラムを終了して切り替える
 - ① [スタート] → [ログオフ] をクリックする
[Windows のログオフ] 画面が表示されます。
 - ② [ログオフ] ボタンをクリックする
使用中のプログラムを終了してから、ログオフし、[開始するにはユーザー名をクリックしてください。] 画面が表示されます。
 - ③ 使用したいユーザのアイコンをクリックする
選択したユーザのアカウントでログオンします。
- Windows 使用中にプログラムを終了せずに切り替える
あらかじめ、次の設定を行なってください。
 - ① [スタート] → [コントロールパネル] をクリックする
 - ② [ユーザーアカウント] をクリックする
[ユーザーアカウント] 画面が表示されます。
 - ③ [ユーザーのログオンやログオフの方法の変更] をクリックする
 - ④ [ユーザーの簡易切り替えを使用する] をチェックし、[オプションの適用] ボタンをクリックする

切り替え方法

- ① [スタート] → [ログオフ] をクリックする
[Windows のログオフ] 画面が表示されます。
 - ② [ユーザーの切り替え] をクリックする
ログオフし、[開始するにはユーザー名をクリックしてください。] 画面が表示されます。
 - ③ 使用したいユーザのアイコンをクリックする
選択したユーザのアカウントでログオンします。
そのユーザのアカウントで前回ログオフしたときの状態が再現されます。
- 各ユーザでインターネットやメールの設定をする
 - ① Windows XP に各自のユーザ名とパスワードでログオンする
 - ② 必要に応じて設定をする
各自のインターネットに接続する設定、Outlook Express の設定などを行なってください。ユーザごとの環境を設定できません。

複数のユーザでメールを使い分けるには、各自のメールアドレスを取得していることが前提となります。

- A** メール環境のみ、複数のユーザで使い分けたい場合は「本章 メール-Q. 複数のユーザでメールを使いたい」をご覧ください。

PHS、携帯電話で接続したい

- A** 本製品で PHS、携帯電話を使用してインターネット接続を行う場合は、別途、接続機器（別売り）が必要です。
接続について詳しくは、『PHS、携帯電話に付属の説明書』や『接続機器に付属の説明書』をご覧ください。

🔍 引っ越したときの手続きは？

A 次の変更を行なってください。

● 電話番号の設定を変更する

インターネットに接続する電話回線を、引っ越し後にお使いになる電話回線に変更してください。

また、プロバイダのアクセスポイントまで電話料金がかかりますので、引っ越し先の住所に最も近いアクセスポイントに変更することをおすすめします。

詳しくは、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

設定は次の手順で変更できます。

● 発信元の電話番号の設定

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [電話とモデムのオプション] をクリックする
[電話とモデムのオプション] 画面が表示されます。
- ③ [ダイヤル情報] タブでダイヤル元の情報を変更する
お使いになる電話回線について、次の点を確認してください。
 - 登録名
引っ越し先を新たに登録したい場合は [新規] ボタンをクリックしてください。
 - ダイヤル元の市外局番
 - 外線発信番号
 - ダイヤル方法
- ④ [OK] ボタンをクリックする

● 接続先の電話番号の設定

- ① [スタート] → [接続] → [XX (接続先)] をクリックする
[XX (接続先) へ接続] 画面が表示されます。
- ② [プロパティ] ボタンをクリックする
[XX (接続先) プロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [全般] タブで [電話番号] 欄に、これから使用したいアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力する
- ④ [XX (接続先) プロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [ダイヤル] ボタンをクリックする
変更した設定が有効になります。
すぐに接続する必要がない場合は [キャンセル] ボタンをクリックしてください。



- 東芝 PC お客様登録に登録した住所、電話番号などを変更する
下記にご連絡いただき、登録情報の変更の手続きをお願いいたします。
 - パソコンお客様ご登録係
TEL / 043-278-5997
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日、祝日、特別休日を除く)
- ご契約のプロバイダや、Windows や各アプリケーションのユーザ登録などに登録した住所、電話番号などを変更することをおすすめします。
詳しくは、各登録先にお問い合わせください。

インターネット閲覧

ここでは、Internet Explorer をお使いの場合について説明します。

❓ **【スタート】 → 【Internet Explorer】 をクリックすると「ページを表示できません」と表示された**

- A** インターネット接続の設定をしていない可能性があります。
インターネットに接続して Internet Explorer を使うには、プロバイダと契約し、インターネットに接続するための設定を完了していることが必要です。

 参照  インターネット接続の設定について


○ 『まずはこれから インターネットに接続しよう』

❓ **Internet Explorer で「このページは、インターネットに接続していないと表示できません。」「要求された Web ページは、オフラインで使用できません。」と表示された**

- A** [オフライン] の設定でホームページを見ている可能性があります。
一度表示されたホームページは、インターネットに接続しない状態（オフライン）で表示することができますが、ページによっては、インターネットに接続しないと見られない場合があります。
[オフラインでは使用できない Web ページ] 画面で、[接続] ボタンをクリックするとオフライン状態が解除され、インターネットに接続して見たいページを表示できます。必要がないときは、[オフライン継続] ボタンをクリックしてください。
また、[オフライン] の設定状態は、Internet Explorer のメニューバーの [ファイル] → [オフライン作業] がチェックされているかどうかで確認できます。

Q 今まで見ることのできたページが見られなくなった

A 次の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。

- ① メニューバーの [ツール] → [インターネットオプション] をクリックする
- ② [全般] タブで [ファイルの削除] ボタンをクリックする
[ファイルの削除] 画面が表示されます。
- ③ [OK] ボタンをクリックする
- ④ [インターネットオプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ Internet Explorer 画面で [更新] ボタン () をクリックする

上記の操作を行ってもページが表示されない場合は、アドレス (URL) が変更になった、または削除された可能性があります。そのホームページの管理者またはプロバイダにお問い合わせください。

Q Internet Explorer でページを開くと文字化けして見られない

A 文字コードの設定が合っていない可能性があります。

メニューバーの [表示] → [エンコード] → [日本語 (自動選択)] をクリックして●をつけてください。

[表示] → [エンコード] → [自動選択] にチェックがついていると、日本語の文字コード選択の精度が落ち、文字化けの原因となるのではありません。


外国語のページの場合は [表示] → [エンコード] → [その他] をクリックし、表示されたメニューから表示させたい外国語を選択します。外国語フォントをインストールしたい場合、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Windows Update] をクリックするとマイクロソフト社の [Windows Update] のホームページが表示されます。このページからフォントをインストールすることができます。

Q Internet Explorer 終了時に、切断の確認画面が出なくなった


A [ダイヤルアップの詳細] で [接続が必要なくなったとき切断する] にチェックがついていない可能性があります。
次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[ネットワークとインターネット接続] をクリックする
- ② [インターネットオプション] をクリックする
[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [接続] タブの [ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定] で接続に使用する接続先を選択し、[設定] ボタンをクリックする
[XX (接続先) の設定] 画面が表示されます。
- ④ [ダイヤルアップの設定] の [詳細設定] ボタンをクリックする
[ダイヤルアップの詳細] 画面が表示されます。
- ⑤ [接続が必要なくなったとき切断する] をチェックする
- ⑥ [ダイヤルアップの詳細] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑦ [XX (接続先) の設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする
- ⑧ [インターネットのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Q [検索] の内容が正しく表示されない


A [検索] 画面のタイトルバーを右クリックし、表示されたメニューから [最新の情報に更新] をクリックしてください。
ツールバーの [更新] ボタン () をクリックしても [検索ページ] は更新されません。

Q 画像ファイルが表示されない

A [更新] ボタン () をクリックしてください。
もう1度データを読み込むことにより、画像ファイルが表示される場合があります。

- A** Internet Explorer で、画像ファイルを表示しない設定になっている可能性があります。

次の手順で設定を変更してください。

- ① メニューバーの [ツール] → [インターネットオプション] をクリックする
[インターネットオプション] 画面が表示されます。
- ② [詳細設定] タブで [マルチメディア] の [画像を表示する] をチェックする
- ③ [OK] ボタンをクリックする
- ④ [更新] ボタン () をクリックする

- A** セキュリティレベルを下げないと画像が表示されない場合があります。

次の手順で設定を変更してください。

- ① メニューバーの [ツール] → [インターネットオプション] をクリックする
[インターネットオプション] 画面が表示されます。
- ② [セキュリティ] タブで [このゾーンのセキュリティのレベル] の [既定のレベル] ボタンをクリックする
- ③ スライダーを調節してセキュリティレベルを下げる
- ④ [OK] ボタンをクリックする

画像を確認したら、上記と同様の手順でセキュリティレベルを元に戻しておいてください。

【お気に入り】のバックアップをとりたい

- A** 【お気に入り】のデータは、ユーザ別の【お気に入り】フォルダに保存されています。

次の手順で、【お気に入り】フォルダをコピーしてください。

- ① [マイ コンピュータ] を開き、(C:) ドライブを開く
ドライブの内容が表示されていない場合は、[このフォルダの内容を表示する] をクリックしてください。
- ② [Documents and Settings] フォルダを開く
- ③ バックアップをとりたいユーザのフォルダを開く
- ④ 【お気に入り】フォルダを、バックアップデータの保存先 (フロッピーディスクなど) にコピーする

- バックアップした [お気に入り] を利用するには、次の操作を行なってください。

- ① [マイ コンピュータ] を開き、(C:) ドライブを開く
ドライブの内容が表示されていない場合は、[このフォルダの内容を表示する] をクリックしてください。
- ② [Documents and Settings] フォルダを開く
- ③ ユーザのフォルダを開く
- ④ 保存した [お気に入り] フォルダを、[お気に入り] フォルダに上書きする

【履歴】 のバックアップをとりたい

- A 【履歴】 のデータは、[History] フォルダに保存されています。
次の手順で、[History] フォルダをコピーしてください。

- ① [マイ コンピュータ] を開き、(C:) ドライブを開く
- ② [WINDOWS] フォルダを開く
フォルダの内容が表示されていない場合は、[このフォルダの内容を表示する] をクリックしてください。
- ③ [Temp] フォルダを開く
フォルダの内容が表示されていない場合は、[このフォルダの内容を表示する] をクリックしてください。
- ④ [History] フォルダを、バックアップデータの保存先（フロッピーディスクなど）にコピーする

- バックアップした 【履歴】 を利用するには、次の操作を行なってください。

- ① [マイ コンピュータ] を開き、(C:) ドライブを開く
- ② [WINDOWS] フォルダを開く
フォルダの内容が表示されていない場合は、[このフォルダの内容を表示する] をクリックしてください。
- ③ [Temp] フォルダを開く
フォルダの内容が表示されていない場合は、[このフォルダの内容を表示する] をクリックしてください。
- ④ 保存した [History] フォルダを、[Temp] フォルダの中の [History] フォルダに上書きする



メール

ここでは、Microsoft Outlook をお使いの場合について説明します。
その他のメールソフトをお使いの場合は、『メールソフトに付属の説明書』を
ご覧ください。

❓ メッセージを送受信できない

- A メッセージを送受信する方法は、Outlook の設定によって異なります。
詳細については、Outlook のヘルプの「送受信グループについて」を
参照してください。
- A モデムを使用している場合は、ダイヤルアップ ネットワークに関するオ
プションが正しく設定されているかどうか確認してください。
メッセージを送受信するには、モデム、電子メール アカウント、電話回
線が必要です。
詳細については、Windows のヘルプを参照してください。
- A 使用しているサーバが利用できない状態にある可能性があります。
しばらく待ってからもう一度実行するか、またはシステム管理者にお問
い合わせください。
- A 電子メール アカウントが、インターネット サービスプロバイダから提供
された情報にもとづいて、正しく設定されていない可能性があります。
サーバの名前や電子メールアドレスを誤って入力していないか、確認し
てください。サーバの設定を確認する方法については、Windows のヘル
プを参照してください。

🔍 送信トレイにメッセージがたまったまま送信されない

- A 送信トレイ内のメッセージを開き、編集後、変更を保存した場合、メッセージは送信されません。
メッセージを送信するには、メッセージを開いて [送信] ボタン をクリックします。送信トレイでは、送信待ちのメッセージは斜体で表示されます。
- A 次に送受信を行うまでメッセージが送信されないように設定されている可能性があります。
次の手順で、設定を変更してください。
- ① メニューから [ツール] → [オプション] をクリックする
 - ② [メール セットアップ] タブで [接続したら直ちに送信する] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする
 - ③ メッセージウィンドウで [送信] ボタンをクリックする
メッセージがすぐに送信されます。LANを使用して接続している場合は、メッセージはバックグラウンドで送信されます。ダイヤルアップ接続を使用する場合は、メッセージの [送信] ボタンをクリックすると Outlook によってサーバに接続されます。

🔍 アドレス帳に新しい名前を追加しても、個人用アドレス帳に表示されない

- A [アドレス帳] ダイアログ ボックスで追加した名前は、連絡先フォルダに追加されません。
連絡先フォルダのエントリは、個人用アドレス帳には追加されません。
個人用アドレス帳を開いて [新規作成] をクリックし、個人用アドレス帳に直接連絡先を追加してください。

Q 連絡先に表示されない情報がある

A カード型のビュー形式でフィールドを追加した場合、ある連絡先で、追加したフィールドにデータが入力されていないと、その連絡先のカードでフィールドは表示されません。

次の手順で、データが入力されていないフィールドを表示させてください。

- ① [連絡先] 画面でメニューから [表示] → [現在のビュー] → [現在のビューの編集] をクリックする
[ビューの設定] 画面が表示されます。
- ② [その他の設定] ボタンをクリックする
[カードビューの書式設定] 画面が表示されます。
- ③ [カードの内容] の [空のフィールドも表示する] をチェックし、
[OK] ボタンをクリックする
- ④ [ビューの設定] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Q 誤って違う人にメールを送信してしまった

A 送信されたメールは取り消すことができません。

このような場合は、間違えて送信してしまった相手にお詫びと送ったメールの削除をお願いするメールを出しましょう。これも大事なメールマナーです。

Q ファイルを添付したメールが送れない

A 添付ファイルのサイズが、プロバイダが定めているサイズの上限より大きい可能性があります。

プロバイダやメールソフトによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

圧縮ソフトを使って、ファイルを圧縮してから送ってください。また、複数のファイルは1度に送らずに、数回に分けて送ってください。メールサイズの上限については、ご契約のプロバイダにご確認ください。

🔍 添付ファイルが表示できない

- A メールソフトが添付ファイルの変換方式に対応していない可能性があります。
使っているメールソフトが受信した添付ファイルの変換方式に対応していない場合などに、文字化けになります。相手のメールソフトの変換方式を確認してください。
- A 自分のパソコンに、対応するアプリケーションがない可能性があります。
添付ファイルに対応するアプリケーションがご自分のパソコンにない場合は、ファイルを開くことはできません。送信元にどのようなアプリケーションで開けるかご確認ください。
- A ファイル名に拡張子がない可能性があります。
拡張子のないファイルは、ファイルの属性がわからないため、開けません。また、「種類が (.dat) のファイルを開こうとしています。」というメッセージが表示される場合があります。
送信元にどのようなアプリケーションで開けるか確認してファイルを開いてください。
- A 添付ファイルが圧縮されている可能性があります。
添付ファイルの拡張子が「.lzh」や「.zip」の場合、ファイルは圧縮されています。いったんハードディスクに保存してから解凍します。「.lzh」のファイルは、市販の圧縮・解凍ソフト等で解凍してください。
- A 添付されているファイル名が文字化けしている可能性があります。
ファイル名が長い場合、文字化けしてファイルが開けなくなることがあります。メールの送信元に連絡して、ファイル名を短くして再送してもらってください。

Q 送付したメールの添付ファイルが、文字化けしているといわれた

- A 相手のメールソフトの設定を確認する
送った添付ファイルの変換方式に相手のメールソフトが対応していない場合などに、メールは文字化けします。相手のメールソフトが対応している変換方式をご確認ください。

Q 新着メールチェックができない

- A 新着メールチェックの設定が間違っている可能性があります。
『基本をマスター 6章 5 新着メールをモードパネルで確認する』をご覧ください。
「新着メールチェック機能」の設定を確認してください。
- A パソコンの電源を切っている可能性があります。
新着メールチェックをするときは、ACアダプタとモジュラーケーブルを接続し、スタンバイ状態、休止状態、または電源の入った状態にしてください。

Q メール着信表示が消えない

- A 次の操作を行なってください。
- ① タスクバーの [メール] アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [メール着信情報を消す] をクリックする

🕒 メールや連絡先データのバックアップをとりたい

A 次の手順で、Microsoft Outlookのメールや連絡先データなどの個人用フォルダのバックアップをとることができます。

- ① メニューバーから [ファイル] → [インポートとエクスポート] をクリックする
[インポートとエクスポート ウィザード] が起動します。
- ② [ファイルへエクスポート] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ③ [個人用フォルダ ファイル(.pst)] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
[個人用フォルダのエクスポート] 画面が表示されます。
- ④ [個人用フォルダ] が選択されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする
- ⑤ [参照] ボタンをクリックする
[個人用フォルダを開く] 画面が表示されます。
- ⑥ [保存先] 欄で保存先を指定し、[OK] ボタンをクリックする
- ⑦ [個人用フォルダのエクスポート] 画面で [完了] ボタンをクリックする

●バックアップしたデータをMicrosoft Outlookで読み込む次の手順で、保存されたデータをMicrosoft Outlookで読み込みます。

- ① メニューバーから [ファイル] → [インポートとエクスポート] をクリックする
[インポートとエクスポート ウィザード] が起動します。
- ② [ほかのアプリケーションまたはファイルからのエクスポート] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ③ [個人用フォルダ ファイル (.pst)] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする
- ④ [参照] ボタンをクリックする
[個人用フォルダを開く] 画面が表示されます。
- ⑤ [ファイルの場所] 欄でバックアップファイルの保存元を指定し、[OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [個人用フォルダのエクスポート] 画面で [完了] ボタンをクリックする



LAN 機能

Q ネットワークに接続できない

A ネットワークの設定が正しくない可能性があります。
次の点を確認してください。

- ケーブルの状態を確認する
- Windows のネットワーク設定を確認する
- 相手先のネットワーク機器 (HUB) などの設定を確認する

A LAN 機能が無効に設定されている可能性があります。
次の手順で設定を確認してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイス マネージャ] ボタンをクリックする
- ④ [ネットワークアダプタ] の左の  をクリックする
ネットワークアダプタ名が表示されます。[Intel(R) PRO/100 VE Network Connection] の左に  が付いている場合は、無効に設定されています。
次の手順で設定を変更してください。
- ⑤ [Intel(R) PRO/100 VE Network Connection] を右クリックし、表示されたメッセージから [プロパティ] をクリックする
- ⑥ [全般] タブで [デバイスを有効にする] ボタンをクリックする
[デバイス問題のトラブルシューティングウィザード] が表示されます。
- ⑦ [次へ] ボタンをクリックする
- ⑧ [完了] ボタンをクリックする
- ⑨ [Intel(R) PRO/100 VE Network Connection のプロパティ] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑩ [デバイス マネージャ] 画面を閉じる
- ⑪ [システムのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

赤外線通信

❓ 赤外線通信ができない

A 赤外線通信ができる環境になっていない可能性があります。
次の点を確認してください。

- 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- 赤外線ポート間の障害物を取り除く
- 赤外線ポートの汚れをおとす
- 赤外線ポートの設定を正しく設定する
- 両方のパソコンを近付ける

❓ 赤外線通信ソフトが使えない

A 「マイクロソフト赤外線通信ソフト」が正しく設定されていない可能性があります。
次の手順で設定してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [ワイヤレスリンク] をクリックする
- ③ [赤外線] タブの [ファイルの転送オプション] で [赤外線通信によるファイルの受信を可能にする] をチェックする ()

❓ 赤外線通信はできるが、データが正しく送られない

A 正しく通信できる環境になっていない可能性があります。
次のことを行なってみてください。

- 通信先とパソコン通信速度を同じにする
- 通信先との距離を近付ける
- 直射日光や蛍光灯の当たる場所からパソコンを離す
- 赤外線を出す装置をパソコン本体から離す

周辺機器


周辺機器については『もっとステップアップ 3章 周辺機器の接続』、『周辺機器に付属の説明書』もあわせてご覧ください。

Q 周辺機器を取り付けているときの電源を入れる順番は？

- A 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れてください。USB 対応機器など、周辺機器によっては、パソコン本体が起動した後電源を入れても使うことができるものがあります。詳しくは、『周辺機器に付属の説明書』をご覧ください。

Q 周辺機器を取り付けたが正しく動かない

- A パソコン本体が周辺機器を、「新しいハードウェア」として認識していない可能性があります。次の手順で [ハードウェアの追加ウィザード] を実行してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [関連項目] で [ハードウェアの追加] をクリックする [ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
 - ③ [次へ] ボタンをクリックする 画面の指示に従って操作してください。
- A 接続ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。接続ケーブルを正しく接続し直してください。

 周辺機器の接続について

➔ 『もっとステップアップ 3章 1-3 取り付け／取りはずしのご注意』

- A システム (OS) に対応していない可能性があります。周辺機器によっては、使用できるシステム (OS) が限られているものがあります。Windows XP に対応しているか確認してください。詳しくは、『周辺機器に付属の説明書』をご覧ください。


SD メモリカード

Q SD メモリカードが使えない

- A SD メモリカードが正しくセットされていない可能性があります。
SD メモリカードが奥まで挿入されているか確認してください。

Q SD メモリカードに書き込み（データの保存）ができない

- A ご使用になるアプリケーションでは対応していないフォーマットの SD メモリカードを挿入している可能性があります。
フォーマットし直してから、SD メモリカードをご使用ください。
フォーマットは、SD メモリカードを使用する機器（デジタルビデオカメラ等）をお持ちの場合は、なるべくそちらで行なってください。
本製品でフォーマットする場合は、「TOSHIBA Audio Manager」などの、SD メモリカード用のフォーマットができるアプリケーション上で行なってください。
フォーマットを行うと、その SD メモリカードに保存されていた情報はすべて消去されます。よく確かめてからフォーマットを行なってください。
- A SD メモリカードのライトプロテクトタブが「書き込み禁止状態」になっていると、書き込み（データの保存）ができません。
SD メモリカードを取り出して、ライトプロテクトタブを「書き込み可能状態」にしてください。

 ライトプロテクトタブについて

☞『基本をマスター 7章 9 SD メモリカード』

- A** SDメモリーカードの空き容量が少ないと、書き込み（データの保存）ができません。

次の操作を行なってください。

- 不要なファイルやフォルダを削除して空き容量を増やし、やり直してください。
SDメモリーカードから削除したファイルを元に戻すことはできません。よく確かめてから削除を行なってください。
- 空き容量が十分にある別のSDメモリーカードを使用してください。

Q SDメモリーカードの曲を再生できない

- A** SDメモリーカードに、再生できる曲が保存されていない可能性があります。よくご確認ください。
- A** 再生しようとしたデータが、本製品では対応していないファイル形式の可能性があります。よくご確認ください。

Q 「READ ERROR」「DATA ERROR」「CODE ERROR」と表示された

- A** ファイル読み込みでエラーが検出されました。データが壊れている可能性があります。
そのファイルを削除してください。
このエラーが多発する場合は、そのSDメモリーカードをフォーマットしてください。
フォーマットを行うと、そのSDメモリーカードに保存されていた情報はすべて消去されます。よく確かめてからフォーマットを行なってください。


スマートメディア

Q スマートメディアが使えない

- A スマートメディアが正しくセットされていない可能性があります。スマートメディアが正しい向き（金色のコネクタ部が上向き）で挿入されているか確認してください。

Q スマートメディアに書き込み（データの保存）ができない

- A ご使用になるアプリケーションでは対応していないフォーマットのスマートメディアを挿入している可能性があります。フォーマットし直してから、スマートメディアをご使用ください。フォーマットを行うと、そのスマートメディアに保存されていた情報はすべて消去されます。よく確かめてからフォーマットを行なってください。フォーマットは、スマートメディアを使用する機器（デジタルカメラ等）をお持ちの場合は、なるべくそちらでフォーマットすることをおすすめします。
- A スマートメディアが「書き込み禁止状態」になっていると、書き込み（データの保存）ができません。スマートメディアを取り出して書き込み禁止シールをはがし、「書き込み可能状態」にしてください。

 書き込み禁止状態について

☞『基本をマスター 7章 8 スマートメディア』

A スマートメディアの空き容量が少ないと、書き込み（データの保存）ができません。


次の操作を行なってください。

- 不要なファイルやフォルダを削除して空き容量を増やし、やり直してください。
スマートメディアから削除したファイルを元に戻すことはできません。よく確かめてから削除を行なってください。
- 空き容量が十分にある別のスマートメディアを使用してください。

フロッピーディスク


❓ フロッピーディスクに書き込み（データの保存）ができない

- A フォーマットされていないフロッピーディスクには、書き込み（データの保存）ができません。
フォーマットを行なってください。本製品でフォーマット可能な形式は1.44MBのみになります。

 フォーマットについて

☞『もっとステップアップ 3章 2-3 フロッピーディスクを使う前に』

- A フロッピーディスクのライトプロテクトタブが「書き込み禁止状態」になっていると、書き込み（データの保存）ができません。
フロッピーディスクを取り出して、ライトプロテクトタブを「書き込み可能状態」にしてください。

 ライトプロテクトタブについて

☞『もっとステップアップ 3章 2-3 フロッピーディスクを使う前に』

- A フロッピーディスクの空き容量が少ないと、書き込み（データの保存）ができません。
次の操作を行なってください。
- 不要なファイルやフォルダを削除して空き容量を増やし、やり直してください。
フロッピーディスクから削除したファイルやフォルダを元に戻すことはできません。
よく確かめてから削除を行なってください。
 - 空き容量が十分にある別のフロッピーディスクを使用してください。

Q ファイルを開こうとすると「読み込みエラー」や「ディスクエラー」が表示された

- A フロッピーディスクに何らかの問題がある可能性があります。次の手順でチェックしてください。
- ① [スタート] → [マイ コンピュータ] をクリックする
 - ② [3.5 インチFD (A :)] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックする
 - ③ [ツール] タブで [エラーチェック] の [チェックする] ボタンをクリックする
 - ④ [不良なセクタをスキャンし、回復する] をチェックする ()
[ファイル システムエラーを自動的に修復する] にチェック () を付けておくと、エラーを自動的に修復します。
 - ⑤ [開始] ボタンをクリックする
ディスクチェックを開始します。
- A 外付けフロッピーディスクドライブの磁気ヘッドが汚れると、フロッピーディスクを読むことができなくなります。
市販のクリーニングディスクを使って外付けフロッピーディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。
- A 他のフロッピーディスクをセットし、ファイルが開けるか確認してください。
問題が解決しない場合は、外付けフロッピーディスクドライブが故障している可能性があります。

Q フロッピーディスクのフォーマットに時間がかかる

- A Windows フォーマットをされていないフロッピーディスクをフォーマットする場合、時間がかかります。

🔍 起動用フロッピーディスクからシステムが起動しない

A (F12)キーを押したまま電源スイッチを押して、表示されたアイコンの中からフロッピーディスクを選択すると、起動ドライブを一時的に外付けフロッピーディスクドライブに変更できます。

A [東芝 HW セットアップ] で起動ドライブの設定を変更できます。
次の手順で変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
- ② [東芝 HW セットアップ] をクリックする
- ③ [OS の起動] タブで [OS の起動] を [FDD] が最初になるように設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

次回から、電源を入れると、外付けフロッピーディスクドライブから起動します。

A 起動用フロッピーディスクが壊れている可能性があります。
壊れていない別の起動用フロッピーディスクを使用してください。



- 外付けフロッピーディスク装置は、本製品に付属のものをご使用になることをおすすめします。

プリンタ

Q 印刷ができない

- A プリンタケーブルが正しく接続されていない可能性があります。
プリンタの接続ケーブルを正しく接続し直してください。
- A プリンタの電源が入っていない可能性があります。
プリンタの電源を入れてください。
- A プリンタドライバがインストールされていない可能性があります。
プリンタを使うには、ドライバのインストールが必要です。『プリンタに付属の説明書』をご覧くださいながらインストールを行なってください。
お使いのプリンタがプラグアンドプレイに対応している場合は、初めてプリンタを接続すると「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されます。画面に従って設定してください。
プラグアンドプレイに対応していない場合は、次の手順で「プリンタの追加ウィザード」を起動してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [プリンタを追加する] をクリックする
- A 接続しているプリンタと違うプリンタを「通常使うプリンタ」に設定している可能性があります。
次の手順で、プリンタの設定を確認してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [インストールされているプリンタまたはFAX プリンタを表示する] をクリックする
 - ③ 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
 - ④ 「通常使うプリンタに設定」をクリックする
プリンタのアイコンの右上にチェック (☑) がつきます。
- A プリンタが用紙切れ、トナー／インク切れになっている可能性があります。
用紙、トナーまたはインクを補充してください。
使用できる用紙、トナーまたはインクについては、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。

- A** プリンタが印刷可能な状態になっていない可能性があります。プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認し、印刷可能な状態にしてください。
プリンタの印刷可能状態については、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。

Q 印刷を実行すると【ファイルへ出力】画面が表示される

- A** プリンタのプロパティで設定されています。
次の手順で設定を変更してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [インストールされているプリンタまたはFAXプリンタを表示する] をクリックする
 - ③ 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
 - ④ 表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする
プリンタのプロパティ画面が表示されます。
 - ⑤ [ポート] タブで [印刷するポート] を確認する
[FILE:ファイルへ出力] が選択されている場合は、使用している状態に合わせてプリンタ出力の項目を選択してください。
選択するポートは、接続するプリンタによって異なります。詳しくは、『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。
 - ⑥ [OK] ボタンをクリックする

Q スタンバイ状態、休止状態から復帰後、正常に印刷できない

- A** スタンバイ状態、休止状態に対応していないプリンタを使用している可能性があります。
パソコンを再起動してください。

❶ 最後まで正しく印刷できない

- A** プリンタドライバが古い可能性があります。
プリンタドライバを更新してください。新しいドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。
また、Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロードし、ドライバを更新できる場合があります。Windows Update は [スタート] → [すべてのプログラム] → [Windows Update] をクリックして行なってください。


❷ 上記のすべてを行っても印刷できない

- A** Windows を終了し、パソコンを再起動してください。
- A** プリンタのセルフテスト（印字テスト）を実行してください。
プリンタのセルフテスト（印字テスト）ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

PC カード

Q PC カードが認識されない

- A PC カードが奥までしっかり差し込んであるか確認してください。

 PC カードの接続について

▷ 『もっとステップアップ 3章 3 PC カードを接続する』

Q PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

- A PC カードによっては、使用できるシステム（OS）が限られているものがあります。

Windows XP に対応しているか確認してください。


詳しくは、『PC カードに付属の説明書』をご覧ください。

- A 本製品は Windows 専用モデルです。コマンドプロンプト上での PC カードの使用はサポートしておりません。

Q PC カードは認識されるが使用できない

- A IRQ が不足している可能性があります。

次の手順で使用しないデバイスを [デバイスマネージャ] で使用不可にしてください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ④ 使用しない装置の種類  をクリックする
- ⑤ 表示される項目から使用しないデバイスを右クリックし、[無効] をクリックする
- ⑥ メッセージが表示されたら [はい] ボタンをクリックする
- ⑦ [デバイス マネージャ] を閉じる
- ⑧ [システムのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

USB 対応機器

Q USB 対応機器が使えない

- A ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。
ケーブルを正しく接続し直してください。


 接続について

➔ 『もっとステップアップ 3章 4 USB 対応機器を接続する』

- A 何らかの原因で、システム（OS）が正しく USB 対応機器を認識していない可能性があります。Windows を再起動してください。
- A ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。
次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [関連項目] で [ハードウェアの追加] をクリックする
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
 - ③ [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

A ドライバが [デバイスマネージャ] で無効に設定されている可能性があります。

次の手順で設定を確認してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ② [システム] をクリックする
[システムのプロパティ] 画面が表示されます。
- ③ [ハードウェア] タブで [デバイス マネージャ] ボタンをクリックする
- ④ [USB (Universal Serial Bus) コントローラ] をダブルクリックする
ドライバ名が表示されます。
ドライバ名の左に× () がついている場合は、無効に設定されています。

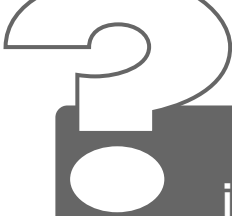
次の手順で設定を変更してください。

- ⑤ 無効になっているドライバ名を右クリックする
- ⑥ 表示されたメニューから [有効] をクリックする
- ⑦ [デバイス マネージャ] 画面を閉じる
- ⑧ [システムのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

休止状態から復帰後、USB 対応機器が正常に動作しない

A 休止状態に対応していない USB 対応機器を接続している可能性があります。


USB 対応機器を USB コネクタから取りはずし、もう 1 度接続してください。



i.LINK (IEEE1394) 対応機器

Q i.LINK (IEEE1394) 対応機器が使えない

- A ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。
ケーブルが、パソコン本体と i.LINK 対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。

 接続について

▷ 『もっとステップアップ 3章 6 i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続する』

- A ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。
次の手順でインストールしてください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックする
 - ② [関連項目] で [ハードウェアの追加] をクリックする
[ハードウェアの追加ウィザード] が起動します。
 - ③ [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。
- A i.LINK 対応機器の電源が入っているかどうか確認してください。
- A 何らかの原因で、システム (OS) が正しく i.LINK 対応機器を認識していない可能性があります。Windows を再起動してください。

光デジタル対応機器*

*光デジタルオーディオ出力端子対応機器

Q 光デジタルオーディオ出力端子に接続した機器から音が出ない／録音できない

- A 正しく接続されていない可能性があります。
ケーブルがパソコン本体と光デジタル対応機器に正しく接続されているかどうか確認してください。

参照 接続について

⇒『もっとステップアップ 3章 7

光デジタルオーディオ出力端子対応機器を接続する』

- A 光デジタル対応機器を接続しているときにパソコン本体のスピーカの音量を変更すると、光デジタル対応機器の音量も変更されます。このとき、光デジタル対応機器での録音の音量も影響を受けます。
光デジタル対応機器で、一定のレベルで音声を出力または録音したい場合は、動作中に次のものを操作しないでください。

- ボリュームコントロールの [WAVE] の [音量]、[バランス]、[ミュート]
- 使用しているアプリケーションのサウンド機能

参照 ボリュームダイヤル、ボリュームコントロールについて

⇒『基本をマスター 7章 6 サウンド機能』

- A 光デジタル出力が無効に設定されている可能性があります。
次の手順で設定してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[関連項目] の [コントロールパネルのその他のオプション] をクリックする
- ② [ヤマハ AC-XG] をクリックする
- ③ [デジタル出力] タブで [ON (デジタルソースのみ)] をチェックする
- ④ [OK] ボタンをクリックする

- △ 光デジタル対応機器のサンプリング周波数が本製品に対応していない可能性があります。

本製品の光デジタルオーディオ出力端子から出力される音声は、サンプリング周波数が48kHzに固定されています。そのため、サンプリング周波数が48kHz以外の機器では、音声は出力されません。接続している機器のサンプリング周波数をご確認ください。

- △ 「InterVideo WinDVD」を使用して再生すると、コピー禁止メディアの場合などは、再生ができて録音はできない場合があります。
- △ 「Audio Manager」など著作権保護機能（SCMSに準拠）を持つプレーヤを使用して音楽ファイルを再生する場合、録音はできません。

アプリケーション

Q アプリケーションをインストールしたい

- A [アプリケーションの追加と削除] で行います。
『こんなことができる 6 章 2 アプリケーションを追加（インストール）する』をご覧ください。

Q 使わないアプリケーションを削除したい


- A [アプリケーションの追加と削除] で行います。
『こんなことができる 6 章 3 アプリケーションを削除（アンインストール）する』をご覧ください。

Q アプリケーションのインストールができない

- A 他のアプリケーションを実行している場合は、実行中のアプリケーションをすべて終了してからインストールしてください。アプリケーションによっては、自動的に実行されている場合がありますので、確認して終了してください。
また、モデムで通信中のときは、通信を切断してからインストールしてください。
- A インストール先がハードディスクドライブ以外のドライブになっている可能性があります。
インストール先をハードディスクドライブ（ご購入時の状態では C ドライブ）に変更してください。
- A ハードディスクの空き容量が足りない可能性があります。
ハードディスクに、アプリケーションをインストールする十分な空き容量がないと、インストールに失敗したり、[ハードディスクの空き容量が足りません] と表示されます。不要なファイルを削除するなどして、ハードディスクの空き容量を増やしてから、もう 1 度インストールしてください。
ハードディスクの空き容量を確認するには [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックし、[ローカルディスク (C:)] をクリックすると [詳細] に [空き領域] が表示されます。

Q アプリケーションが使えない


- A アプリケーションによっては、コンピュータの管理者アカウント以外では起動できません。

 複数のユーザがパソコンを使用する場合のアプリケーションについて
⇒『こんなことができる DynaBook でやりたいことを探そう!』

- A 正しくインストールしていない可能性があります。
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。

- A システム（OS）に対応していない可能性があります。
アプリケーションによっては使用できるシステム（OS）が限られているものがあります。
詳しくは、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

- A メモリが足りない可能性があります。
アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

 メモリの増設について
⇒『もっとステップアップ 3章 11 メモリを増設する』

- A アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。


🔍 アプリケーションが操作できなくなった

A アプリケーション使用中に操作できなくなった場合は、次の手順でアプリケーションを強制終了してください。終了後、もう1度アプリケーションを起動してください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

- ① **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② [アプリケーション] タブで [応答なし] と表示されているアプリケーションをクリックする
- ③ [タスクの終了] ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

🔍 購入時に入っていたアプリケーションを誤って削除してしまった



A 本製品にあらかじめインストールされている（プレインストールされている）アプリケーションやドライバは「アプリケーション CD」から再インストールできます。

 再インストールについて

☞ 「3章 4 アプリケーションを再インストールする」

Q 入力した音声为正しく認識されない

- A マイクと口の距離が合っていない可能性があります。
マイクの位置は口の横、約2cm前後にし、息が吹きかからないように調節してください。
- A 周囲の雑音が大きすぎる可能性があります。
できるだけ静かなところで使用してください。
- A 音声入力者の設定が正しくない可能性があります。
[マイクレベル調整] または [音声認識のプロパティ] で男性 / 女性 / 男女共通の選択をしてください。
- A 入力レベルが合っていない可能性があります。
マイクからの入力レベルが小さすぎたり、大きすぎたりすると、正しく認識できないことがあります。[マイクレベルの調整] またはボリュームコントロールで、マイクレベルの調整を行なってください。それでも正しく認識されないときは、パソコンの入力レベルを調整してください。

 詳細について  『LaLaVoice ヘルプ』

Q 認識結果がなかなか表示されない


- A 認識処理に時間がかかっている場合があります。
1度にたくさんの言葉を話すと、認識を処理するのに時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
- A メモリが不足している可能性があります。
使用しないアプリケーションは終了してください。

🗣️ 何も発声していないのに、音声コマンドが入力されてしまう

- A マイクにかかった息を誤認識している可能性があります。マイクの位置は口の横、約2cm前後にし、息が吹きかからないように調節してください。
- A マイクのレベルが高すぎて周囲の雑音を誤認識している可能性があります。できるだけ静かなところで使用してください。

🗣️ [マイクレベルの調整] が正常に終了しない／終了しても誤認識をする

- A マイクの On/Off ボタンを確認してください。
- A 入力レベルが合っていない可能性があります。パソコンの入力レベルを調整してください。

 詳細について ➡ 『LaLaVoice ヘルプ』



メッセージ

Q モードパネルに「Password=」と表示された

- A パスワードが設定されています。
[東芝HWセットアップ] で設定したパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。
パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。
キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。その際、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「入力されたパスワードが間違っています」と表示された

- A 大文字ロック状態でパスワードを入力した可能性があります。
(Shift)+(Caps Lock 英数)キーを押して大文字ロック状態を解除し、もう1度入力してください。

🕒 画面が青くなり、「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」から始まるメッセージが画面一面に表示された

A ハードウェアの接続に不具合が起き、休止状態が無効になったというメッセージです。休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。電源を切る前の状態は再現できません。次の操作を行なってください。

- ① 電源スイッチを5秒以上押し、パソコンを強制終了する
- ② 再び電源スイッチを押して、パソコンを再起動する
「システムは休止状態からの復帰に失敗しました。」というメッセージが表示されます。
- ③ 「復元データを削除してシステム ブート メニューにすすみます」が反転表示していることを確認し、(Enter)キーを押す
Windows が起動します。

🕒 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry 」

A 次の操作を行なってください。

- フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す

または、「付録 トラブルチェックシート」で必要事項をご確認のうえ、東芝 PC ダイアルにご連絡ください。

Q C:¥ >_ のように表示された

A コマンドプロンプトが全画面表示されています。
次の操作を行なってください。

- 方法1 – コマンドプロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える
 - (Alt) + (Enter) キーを押す
- 方法2 – コマンドプロンプト画面を終了する
 - ① (E)(X)(I)(T) とキーを押す
 - ② (Enter) キーを押す

Q その他のメッセージが表示された

A ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧ください。

その他


Q パソコン本体からカリカリと変な音がする

- A ハードディスクが自動保存を行なっています。パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの内部作業が行われています。ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。極端に異常な音が聞こえるなど、おかしいと思われる状態が発生したときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。

Q 甲高い音がする

- A ハウリングを起こしています。ハウリングとは、スピーカから出た音がマイクに入り再びスピーカに返されることで、音が増幅し発生する高く大きな音のことです。使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカとでハウリングを起こすことがあります。次の方法で調整してください。

- 外部マイクをパソコン本体から遠ざける
- パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調整する
- 使用しているソフトウェアの設定を変える
- ボリュームコントロールの設定で音量を調整する

 ボリュームダイヤル、ボリュームコントロールについて
　　○『基本をマスター 7章 6-1 スピーカの音量を調整する』

Q テレビやラジオの音が聞こえてくる

- A モジュラーケーブルがテレビ・ラジオの音を拾っている可能性があります。モジュラーケーブルを延長して、パソコン本体と電話回線を接続している場合は、標準のモジュラーケーブルのみを使用して確認してください。また、モジュラーケーブルにノイズ除去用部品を取り付けてください。それでも解決できない場合は、電話回線自体がノイズを拾っている可能性があります。ご契約の電話会社に相談してください。


Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

A 次の操作を行なってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

Q パソコンが応答しない

A 応答しないアプリケーションを強制終了してください。

 対処方法について → 「本章 アプリケーション

-Q. アプリケーションが操作できなくなった」

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、以降の操作を行なってください。

A Windows を強制終了し、再起動してください。


強制終了の方法は、次のとおりです。

システムが操作不能になったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ機能／休止状態は無効になります。また、保存していないデータは消去されます。

- ① **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押す
[Windows タスクマネージャ] 画面が表示されます。
- ② メニューバーの [シャットダウン] をクリックする
タッチ패드やマウスで操作できない場合は、**(Alt) + (U)** キーを押してください。
- ③ [コンピュータの電源を切る] をクリックする
タッチ패드やマウスで操作できない場合は、**(U)** キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ④ パソコン本体の電源を入れる

Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある

- A ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

参照  ウイルスチェックソフト

➡『こんなことができる 5章 1 ウイルスチェックをする』

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

- A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてから販売店または保守サービスにご連絡ください。なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。


- 使用している機器の名称
- ご購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

- A 「付録 トラブルチェックシート」で、必要事項をご確認のうえ、東芝 PC ダイアルにご連絡ください。

Q パソコンを廃棄したい

- A 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

参照  廃棄について ➡『基本をマスター 8章 3 廃棄について』

3章 再セットアップ

- 1 再セットアップとは 118
- 2 カスタム・リカバリ CD とは 119
- 3 標準システムを復元する 120
- 4 アプリケーションを再インストールする 124

1

再セットアップとは

同梱されているカスタム・リカバリ CD を使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

1 再セットアップが必要なとき

次のようなときに、再セットアップしてください。

- C ドライブをフォーマットしてしまった
- ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
- 電源を入れても、システム（Windows）が起動しない
- プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう 1 度インストールしたい など


2 再セットアップする前に

「2章 Q&A 集」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧ください。解決できないときに再セットアップしてください。

再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。

また、インターネットやハードウェアなどの設定は、すべてご購入時の状態に戻ります。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

メールデータ	⇒「2章 メール-Q. メールデータのバックアップをとりたい」
アドレス帳	⇒「2章 メール-Q. アドレス帳のバックアップをとりたい」
インターネットの 【お気に入り】	⇒「2章 インターネット閲覧- Q. 【お気に入り】のバックアップをとりたい」
インターネットの 【履歴】	⇒「2章 インターネット閲覧- Q. 【履歴】のバックアップをとりたい」
インターネットの 設定について	⇒「まずはこれから インターネットに接続しよう- インターネット設定チェックシート」

 バックアップについて ⇒ 『こんなことができる 5章 2 バックアップをとる』

2

カスタム・リカバリ CD とは


本製品には次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

- プロダクト Product Recovery CD-ROM
- リカバリ アプリケーション CD

カスタム・リカバリ CD は再セットアップのときに必要です。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。再セットアップには、次の方法があります。目的に合った再セットアップ方法を選んでください。


■ 標準システムを復元する

システムをご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元します。

 詳細について ⇨ 「本章3 標準システムを復元する」

■ アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。

 詳細について ⇨ 「本章4 アプリケーションを再インストールする」

3

標準システムを復元する

本製品にプレインストールされている Windows やアプリケーションをすべて復元し、ご購入時の状態に戻します。


1 はじめる前に

■ 必要なもの

- Product Recovery CD-ROM
- 『困ったときは』(本書)、『まずはこれから』
- Microsoft® Office XP Personal CD-ROM
- Microsoft® Bookshelf® Basic CD-ROM


■ 準備

- 必要なデータを保存する
システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。


 バックアップについて

⇒ 『こんなことができる 5章 2 バックアップをとる』

- パソコンを購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずしてください。

 周辺機器の取りはずし ⇒ 『もっとステップアップ 3章 周辺機器の接続』

また、1度 Windows を終了して電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずしてください。
パソコンがご購入時の状態に戻ります。
ACアダプタとバッテリーパックを取り付け直してから、システムの復元を行なってください。

 バッテリーパックの取り付け/取りはずし

⇒ 『もっとステップアップ 1章 1-3 バッテリーパックを交換する』

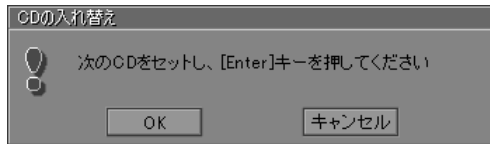
2 操作手順

- 1 ACアダプタと電源コードを接続する
- 2 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 3 キーボードの(F12)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
- 4 表示されたアイコンのCDにカーソルを合わせ、(Enter)キーを押す
「復元を開始します！」というメッセージが表示されます。
- 5 (Y)キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
- 6 (Y)キーを押す
処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。
復元が実行されます。
復元中は、次の画面が表示されます。
復元の進行状況を示すグラフ表示が100%まで伸びた後、もう1度0%から始まります。グラフが2度目に100%に達すると完了です。



7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合、CD を入れ替え、**Enter** キーを押してください。処理が続きます。



- 画面には、現在何枚目のCDの復元が終了し、次に何枚目のCDをセットする必要があるかなどは、表示されません。CDが何枚目であるかはラベルに書いてあるので、CDを取り出す際に番号を覚えておくようにしてください。

復元が完了すると、「[初期インストールソフトウェアの復元]は完了しました。」というメッセージが表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windowsのセットアップを行う



Windowsのセットアップ

⇒『まずはこれからWindowsのセットアップをしよう』

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう1度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行なってください。



周辺機器の接続 ⇒『もっとステップアップ 3章 周辺機器の接続』



アプリケーションのインストール

⇒『こんなことができる 6章 2 アプリケーションを追加（インストール）する』

「Microsoft Office」*1 は、以上の手順では復元されません。
Windows のセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに
同梱されている説明書をご覧のうえ、復元してください。
「読み上げ」 および 「声で入力」 の組み込み方法は、『LaLaVoice ヘルプ』の
「マクロのインストール／アンインストール」 をご覧ください。

*1 : Microsoft® Office XP Personal

4

アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。

■ 必要なもの

- アプリケーションCD
- 『困ったときは』(本書)、『こんなことができる』

1 操作手順

1 アプリケーションCDをセットする

アプリケーションCDは、複数枚入っている場合があります。再インストールしたいアプリケーションやドライバがCDに入っていない場合は、CDを入れ換えてください。

2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

[ファイルのダウンロード] 画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。



- すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行なってください。アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

付録

ローマ字入力一覧表	126
アプリケーションのお問い合わせ先	128
プロバイダのお問い合わせ先	134
トラブルチェックシート	140

ローマ字入力一覧表

おもなローマ字とかなの対応表です。

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
か	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
さ	さ	し	す	せ	そ
	sa	shi si	su	se	so
た	た	ち	つ	て	と
	ta	chi ti	tsu tu	te	to
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	fu hu	he	ho
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
や	や		ゆ		よ
	ya		yu		yo
ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
わ	わ				を
	wa				wo
ん	ん				
	n* nn				
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	ji zi	zu	ze	zo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	di	du	de	do
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po

※：nに続けて子音（k、s、t、nなど）が入力されると「ん」になります。

あ	い	う	え	お
xa	xi	xu	xe	xo
la	li	lu	le	lo
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
kya	kyi	kyu	kye	kyo
しゃ	しい	しゅ	しえ	しょ
sha	syi	shu	she	sho
sya		syu	sye	syo
		っ ^{*1}		
		xtu		
		ltu		
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちょ
cha	tyi	chu	che	cho
tya	cyi	tyu	tye	tyo
cya		cyu	cye	cyo
てゃ	てい	てゅ	てえ	てょ
tha	thi	thu	the	tho
にゃ	にい	にゅ	にえ	にょ
nya	nyi	nyu	nye	nyo
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひょ
hya	hyi	hyu	hye	hyo
ふぁ	ふい		ふえ	ふぉ
fa	fi		fe	fo
ふゃ	ふい	ふゅ	ふえ	ふょ
fya	fyi	fyu	fye	fyo
みゃ	みい	みゅ	みえ	みょ
mya	myi	myu	mye	myo
ゃ		ゅ		ょ
xya		xyu		xyo
lya		lyu		lyo
りゃ	りい	りゅ	りえ	りょ
rya	ryi	ryu	rye	ryo
	ゐ ^{*2}		ゑ ^{*2}	
	wi		we	
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
gya	gyi	gyu	gye	gyo
じゃ	じい	じゅ	じえ	じょ
ja	zyi	ju	je	jo
zya	jyi	zyu	zye	zyo
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢょ
dya	dyi	dyu	dye	dyo
でゃ	でい	でゅ	でえ	でょ
dha	dhi	dhu	dhe	dho
びゃ	びい	びゅ	びえ	びょ
bya	byi	byu	bye	byo
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴょ
pya	pyi	pyu	pye	pyo
ヴぁ ^{*3}	ヴい	ヴ	ヴえ	ヴぉ
va	vi	vu	ve	vo
ヴゃ ^{*3}	ヴい	ヴゅ	ヴえ	ヴょ
vya	vyi	vyu	vye	vyo

※ 1：通常は後ろの子音を2つ続けて入力します。【例】「いった」→ itta

※ 2：キーボードで入力した後、変換してください。

※ 3：「ヴ」にひらがなはありません。カタカナに変換する必要があります。

アプリケーションのお問い合わせ先

* 2001年10月現在の内容です。

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は、次のとおりです。

各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

アプリケーション名：

Acrobat Reader／Audio Manager／Easy CD Creator／DirectCD／Fn-esse／Internet Explorer／InterVideo WinDVD／LaLaVoice／LIVE MEDIA PLAYER／Outlook Express／Windows Media Player／簡単インターネット／東芝HWセットアップ／東芝PC診断ツール／東芝省電力ユーティリティ／内蔵モデム用地域選択ユーティリティ

お問い合わせ先：

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル 0570-00-3100

受付時間：9:00～19:00（祝日、12/31～1/3を除く）

電話番号はおまちがえないよう、お確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。

拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780でお受けしています。

ご注意

- ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません（サポート料金は無料です）。
- ・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

アプリケーション名：

Microsoft Bookshelf Basic／Microsoft Excel／
Microsoft Outlook／Microsoft Word

お問い合わせ先：

マイクロソフト株式会社 お問い合わせ各種窓口

無償サポート専用回線

●セットアップ、インストールに関するお問い合わせ

TEL : 東京：03-5354-4500
大阪：06-6347-4400

受付時間 : 9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
10:00～17:00（土曜日・日曜日）
（指定休業日、年末年始、祝祭日を除く）

期間、回数 : 指定はございません。

●基本操作に関するお問い合わせ

TEL : 東京：03-5354-4500
大阪：06-6347-4400

受付時間 : 9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
10:00～17:00（土曜日）
（指定休業日、年末年始、祝祭日、日曜日を除く）

期間 : 指定はございません。

回数 : 4件のご質問

●早急に回答が必要な場合

サポートオンライン <http://www.microsoft.com/japan/support/>
サポートオンラインではよく寄せられる質問の回答集を検索することができます。

●情報交換しながら問題解決する

ニュースグループ http://www.microsoft.com/japan/support/oj_newsg.htm
ニュースグループではマイクロソフト製品に関して他の方や技術的な知識を持った方とコミュニケーションすることができます。製品情報やヒント、テクニックの交換の場としてご活用ください。

※ニュースグループに参加する際は、上記URL内にある「サービスの範囲とルール」を必ずご覧ください。ニュースを閲覧／投稿する際には、Outlook Expressなどのニュースリーダーが必要です。

非技術的なお問い合わせ窓口

（マニュアルの乱丁・落丁、ディスク不良、欠品及びオフィシャルユーザー登録/変更などご購入前の製品/これから発売される製品に関するお問い合わせ）

マイクロソフトカスタマーインフォメーションセンター

TEL : 03-5454-2300（技術サポート以外）

受付時間 : 9:30～12:00、13:00～17:30

（当センター休業日、土・日・祝祭日を除く）

※ご購入前の製品やこれから発売される製品に関するお問い合わせは、お電話でのみ受け付けています。

上記以外に聴覚・言語に障害があるかたのための窓口もご用意させていただいております。

アプリケーション名： イー・アクセス ADSLスターターキット
お問い合わせ先： イー・アクセス株式会社 カスタマーサービスセンター TEL : 0120-2754-37 (つなごうよ みんな) 受付時間 : 10:00~18:00 (年中無休) E-mail : info@eaccess.net ホームページ : http://www.eaccess.net
アプリケーション名： The翻訳インターネット
お問い合わせ先： 東芝翻訳サポートセンタ TEL : フリーダイヤル 0120-1048-37 *携帯電話、PHSをご利用の場合：03-5465-7290 受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日ならびに本サポートセンタ臨時休業日を除く) E-mail : honyaku@toshiba.co.jp ホームページ : http://www.hon-yaku.toshiba.co.jp/
アプリケーション名： PostPet
お問い合わせ先： ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社 ポストペットの最新情報やQ&Aはポストペットホームページをご覧ください。 http://www.so-net.ne.jp/postpet/
アプリケーション名： プロアトラス2002
お問い合わせ先： 株式会社アルプス社 ユーザーサポートセンター TEL : 03-5836-2380 受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日、休業日を除く) FAX : 03-5836-2390 (24時間受付) E-mail : support@alpsmap.co.jp 製品情報のサイト : http://www.alpsmap.co.jp/

アプリケーション名： 駅すばあと
お問い合わせ先： 株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター TEL : 03-5373-3522 受付時間 : 10:00～12:00、13:00～18:00 (土・日・祝日を除く) FAX : 03-5373-3523 E-mail : support@val.co.jp *ユーザー登録されたお客様が対象となります。 ホームページ : http://www.ekiworld.net/
アプリケーション名： 筆ぐるめ
お問い合わせ先： 富士ソフトABC株式会社 インフォメーションセンター 住所 : 〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-19-7 TEL : 03-5600-2551 FAX : 03-3634-1322 受付時間 : 9:30～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝祭日・会社休業日を除く) E-mail : users@fsi.co.jp ホームページ : http://www.fsi.co.jp/ ※電話がつながりにくい場合は、E-mail、FAXをご利用いただくことをおすすめします。 ※マニュアルが必要な場合、オーム社発行の「筆ぐるめ操作マニュアル」を書店でお求めになれます。 株式会社オーム社 通販課 TEL : 03-3233-0643 FAX : 03-3293-6224
アプリケーション名： てきばき家計簿MAM3
お問い合わせ先： テクニカルソフト株式会社 サポートセンター TEL : 東京 03-3564-6370 大阪 06-6633-1162 岡山 086-245-4770 FAX : 086-244-6010 受付時間 : 10:00～17:00 (土・日・弊社休業日を除く) E-mail : support@softnet.co.jp ホームページ : http://www.softnet.co.jp/

アプリケーション名： Norton AntiVirus 2002
お問い合わせ先： ●非技術的なお問い合わせ窓口 シマンテックテクニカルサポートセンター なお、上記サポートセンターをご利用いただくためには以下のシマンテックホームページにてカスタマーIDの取得が必要です。 ホームページ： http://www.shop.symantec.co.jp/oem/toshiba/2002/ TEL： 03-3476-1118 受付時間： 10:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く) FAX： 03-3477-1118 ※本製品でNorton AntiVirus 2002をご使用の場合、電話によるサポートは製品のご使用を開始されてから90日間となります。それ以降は、有償サポートをご購入いただくことでサポートを受けていただくことが可能となります。 ●カスタマーID取得、およびご購入前の一般的なご質問に関するお問い合わせ コンシューマ・カスタマーサービスセンター TEL： 03-3476-1156 受付時間： 10:00～12:00、13:00～17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く) FAX： 03-3476-1159
アプリケーション名： デジカメWalker (Ulead iPhoto Express)
お問い合わせ先： ユーリードテクニカルサポート TEL： 03-5491-5662 受付時間： 10:00～12:00、13:00～17:00 (平日) FAX： 03-5491-5663 E-mail： support@ulead.co.jp ホームページ： http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm
アプリケーション名： KaraOK!
お問い合わせ先： 株式会社フェイス 「KaraOK!」の最新情報やご質問は「KaraOK!」のホームページをご覧ください。 ホームページ： http://www.so-net.ne.jp/karaoke/

アプリケーション名： MotionDV STUDIO
お問い合わせ先： 松下電器産業株式会社 お客様ご相談センター TEL : 0120-878-365 (フリーダイヤル) 受付時間 : 9:00~20:00 (年中無休) ホームページ : http://www.panasonic/avc/video/DIGICAM/mdv/top.htm
アプリケーション名： 携快電話5in
お問い合わせ先： ソースネクストテクニカルサポートセンター TEL : 03-5388-8250 受付時間 : 10:00~18:00 (土・日・祝日・年末年始・ゴールデンウィークを除く) ホームページ : http://www.sourcenext.com/support/qa/k (FAQを参照後、メールにてお問い合わせください)

プロバイダのお問い合わせ先

* 2001年10月現在の内容です。

「簡単インターネット」から契約できるプロバイダのお問い合わせ先は、次のとおりです。

プロバイダ名： AOL
お問い合わせ先： 株式会社ドコモAOL AOLメンバーズサポートセンター TEL : 0120-275-265 * 携帯電話、PHSの場合 : 03-5331-7400 受付時間 : 9:00~21:00 (年中無休) FAX : 0120-379-930 E-Mail : aoljapanms@aol.com
プロバイダ名： @nifty
お問い合わせ先： @nifty入会センター TEL : 0120-816-042 (携帯電話/PHS/海外の場合) 03-5753-2374 (電話料金はお客様ご負担となります。) 受付時間 : 毎日 9:00~21:00 * ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。 E-mail : http://www.nifty.com/support/madoguchi/form_join.htm ホームページ : http://www.nifty.com/support/madoguchi/
プロバイダ名： BIGLOBE
お問い合わせ先： NEC BIGLOBEカスタマーサポート 詳しいサービス内容や事務手続きに関するお問い合わせ [総合受付] インフォメーションデスク TEL : フリーダイヤル 0120-86-0962 * 携帯電話、PHS、CATV電話をご利用の場合 03-3947-0962 受付時間 : 24時間 365日 E-mail : info@bcs.biglobe.ne.jp ホームページ : http://support.biglobe.ne.jp/

プロバイダ名： DION
お問い合わせ先： KDDIカスタマサービスセンター TEL : (サービス内容)  0077-7192 (無料) : (接続・設定等)  0077-20227 (有料 全国一律1分10円) *携帯電話、PHSからは 東京 03-5348-3975 (有料) 札幌 011-232-7012 (有料) 受付時間 : 9:00~21:00 (土・日・祝日も受付中) ホームページ : http://www.dion.ne.jp/ E-mail : (サービス内容) support@dion.ne.jp (接続・設定等) tech_support@dion.ne.jp
プロバイダ名： DreamNet
お問い合わせ先： ドリームネット・インフォメーションセンター サービスに関してのお問い合わせ TEL : 0120-5656-86 受付時間 : 10:00~18:00 (土・日・祝日を除く) FAX : 045-222-8561 E-mail : request@info.dream.com ホームページ : http://www.dream.com/
プロバイダ名： infoPepper
お問い合わせ先： 東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口 TEL : 044-201-0450 受付時間 : 10:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日、当社休業日を除く) FAX : 044-246-1131 FAX・音声 情報サービス : 044-201-0449 (24時間受付) E-mail : support@staff.pep.ne.jp ホームページ : http://www.pep.ne.jp/

プロバイダ名： OCN
お問い合わせ先： 〈OCNサービス全般のお問い合わせ、入会に関するご相談〉 OCNインフォメーションデスク TEL : 0120-047-815 FAX : 0120-047-817 受付時間 : 9:00~21:00 (月~金) 9:00~17:00 (土、日、祝日) ※年末、年始を除く E-mail : info@ocn.ad.jp 〈OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先〉 OCNカスタマサポート TEL : 0120-047-860 FAX : 0120-047-861 受付時間 : 9:00~21:00 (月~金) 9:00~17:00 (土・日・祝) ※年末、年始を除く E-mail : support@ocn.ad.jp ホームページ : http://www.ocn.ne.jp

プロバイダ名：

ODN

お問い合わせ先：

ODNサポートセンター

ODNサービスに関するお問い合わせ

T E L : 0088-86 (無料)
受付時間 : 9:00~21:00 (平日)
9:00~18:00 (土日祝日)

接続に関するお問い合わせ

T E L : 0088-85 (無料)
受付時間 : 9:00~21:00 (平日)
9:00~18:00 (土日祝日)

FAX・E-mailによるお問い合わせ

F A X : 0088-228-850 (24時間無料着信)
E-mail : odn-support@odn.ad.jp

J-DSLに関するお問い合わせ

ODNサポートセンターJ-DSL担当デスク

J-DSL/ODNフレッツADSLプラン

T E L : 0088-222-375 (無料)
受付時間 : 9:00~18:00 (年中無休)

音声によるJ-DSL提供エリア検索

T E L : 0088-222-357 (無料)
受付時間 : 24時間

FAX・E-mailによるお問い合わせ

F A X : 0088-250-106 (24時間無料着信)
E-mail : info-adsl@odn.ad.jp

プロバイダ名：

So-net

お問い合わせ先：

So-netカスタマーサポートセンター

インフォメーションデスク（サービス内容に関するお問い合わせ窓口）

【全国共通インフォダイヤル】：0570-00-1414

（日本全国どこからでも3分8.5円の通話料金でご利用になれます。）

*携帯、PHSからおかけになる場合はこちらへ

【札幌】：011-711-3765

【仙台】：022-256-2221

【東京】：03-3446-7555

【名古屋】：052-819-1300

【大阪】：06-6577-4000

【広島】：082-286-1286

【福岡】：092-624-3910

受付時間：10:00～21:00（年中無休）

FAX：03-3446-7557

E-mail：info@so-net.ne.jp

自動応答サービス（24時間対応）

資料請求ダイヤル：03-5469-7200

So-netロボダイヤル ナビダイヤル：0570-00-7272

携帯/PHS：03-3446-8955

自動返信メール：auto-info@so-net.ne.jp

テクニカルサポートデスク（会員専用の技術関係のお問い合わせ窓口）

受付時間：10:00～22:00（平日）

10:00～21:00（土・日・祝祭日）

プロバイダ名：

東京電話インターネット

お問い合わせ先：

東京電話インターネットインフォメーションセンター

TEL：0081-1588

0120-719-033

受付時間：9:00～21:00（年中無休）

E-mail：dup-info@ttcn.ne.jp

ホームページ：http://www.dup.ttcn.ne.jp

プロバイダ名： ぷらら
お問い合わせ先： <ぷららダイヤル> (テクニカルサポート) TEL : 03-5954-5311 (Win版) 受付時間 : 12:00~21:00 (平日) 12:00~19:00 (土・日・祝祭日) (5/3~5、12/29~1/3を除く) <ぷらら入会受付専用ダイヤル> TEL : 0120-488912 (スバヤクイージー) 受付時間 : 10:00~22:00 (平日・土・日・祝祭日) (5/3~5、12/29~1/3を除く) FAX : 03-5954-5344 (自動応答FAX) E-mail : kojim@plala.or.jp ホームページ : http://www.plala.or.jp/
プロバイダ名： InfoSphere
お問い合わせ先： InfoSphereインフォメーションセンター TEL : 0120-85-4588 (フリーダイヤル) 受付時間 : 10:00~21:00 (年中無休) E-mail : info-staff@sphere.ad.jp ホームページ : http://www.sphere.ad.jp/

トラブルチェックシート

パソコンの操作について、困ったときは、東芝PCダイヤルに連絡してください。

記述的なご質問、お問い合わせにお答えします。

東芝PCダイヤル

技術的なご質問、お問い合わせに電話でお答えします。

※受付時間／9：00～19：00（祝日、12/31～1/3を除く）

ナビダイヤル

全国共通電話番号 **0570-00-3100**

〔電話番号はおまちがえのないよう、お確かめのうえ、
おかけいただきますようお願いいたします〕

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。

ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません（サポート料金は無料です）。

ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

次のようなお電話は、上記の電話ではお受けできません。

該当されるお客様は、043-298-8780（直通）をご利用ください。

- 海外からのお電話
- 携帯電話、PHS
- NTT以外の電話事業者を経由しての接続（0088、0077など）
- 企業で一部使用されている契約回線
- 企業のPBXで「0570」が使用できない設定になっているもの
- NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様



- α -LCR / Super-LCR などの設定でご使用のお電話は、設定を解除することで「0570-00-3100」をご利用いただけます（解除方法はお手持ちの『電話機に付属の説明書』をご覧ください）。
- 「東芝 PC FAX 情報サービス」からも、商品情報、Q&A などの情報を FAX（G3 規格）で入手することができます。
- 「東芝 PC テクノセンタ」（東京 / 大阪）では対面相談を受け付けております（技術相談 / 作業は有償）




参照 詳細について  『東芝 PC サポートのご案内』

トラブルチェックシート

円滑に対応させていただくために、お問い合わせの前に下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせください。

次の内容の他に、オペレーティングシステムのバージョンやCPUの種類について東芝PCダイアルから聞かれた場合は、[PC診断ツール]の[基本情報の表示]ボタンをクリックしてご確認ください。

 PC診断ツール ⇨ 『こんなことができる 5章 3
パソコンの情報を見る／状態を診断する』

【ご使用の環境について（使用中のパソコン環境）】

Q.1 ご使用になっているパソコン名（型名）は？
（本体や取扱説明書をご覧ください）

機種名： _____

下記の情報をお尋ねすることがございます。

（製造番号： _____、購入店： _____、購入日： _____ など）

Q.2 ご使用になっているソフトウェア環境は？

Windows®XPなど、お使いのシステムとアプリケーションをお知らせください

OS（システム名）： _____

その他： _____

Q.3 どのような症状が起きましたか？

症状： _____

Q.4 その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？

操作内容： _____

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？

表示内容：

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？

- 一度発生したが、その後発生しない
- 電源を切らないと発生するが、電源を切って再起動すれば発生しない
- 電源を切ってから再起動しても必ず発生する
- その他：

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？

- ある一定の操作をすると発生する
- どんな操作をしても発生する
- その他：

Q.8 インターネットや通信に関するご相談の場合

プロバイダ名：

使用モデム名：

使用回線： 内線発信アリ 内線発信ナシ 携帯 PHS
 ダイヤル回線 プッシュホン回線 ISDN ADSL


Q.9 お問い合わせの内容が周辺機器の場合、ご使用になっている周辺機器名は何ですか？

機器名（製品名）：

メーカー名：

総合さくいん

(記号)

.NET Passport	《もっとステップアップ》 66
.NET Passport を追加する	《もっとステップアップ》 66
 キーを使ったショートカットキー	《もっとステップアップ》 38

(A)

Acrobat Reader	《こんなことができる》 154
AC アダプタの仕様	《基本をマスター》 248
Alt キー	《基本をマスター》 74, 75
Arrow Mode LED	《基本をマスター》 75
.....	《もっとステップアップ》 35
Audio Manager	《こんなことができる》 63

(B)

BackSpace キー	《基本をマスター》 75
Battery LED	《基本をマスター》 201
BCC	《基本をマスター》 165, 181

(C)

Caps Lock LED	《基本をマスター》 74
.....	《もっとステップアップ》 34
Caps Lock 英数キー	《基本をマスター》 74
CC	《基本をマスター》 165, 181
CD	《基本をマスター》 15, 226
CD / DVD 再生アイコン	《基本をマスター》 203
CD / DVD 再生モード	《基本をマスター》 207
CD-R	《基本をマスター》 15
CD-ROM	《基本をマスター》 15
CD-ROM LED	《基本をマスター》 201, 227
CD-RW	《基本をマスター》 15
CD エクストラ	《基本をマスター》 15
CD のセット	《基本をマスター》 228

CD の取り扱い	《基本をマスター》 244
CD の取り出し	《基本をマスター》 229
CPU	《基本をマスター》 12
CRT ディスプレイ	《基本をマスター》 18
CRT ディスプレイの接続	《もっとステップアップ》 102
Ctrl キー	《基本をマスター》 74, 75

(D)

DC IN LED	《基本をマスター》 24, 201
Del キー	《基本をマスター》 75
DirectCD	《こんなことができる》 200
Disk LED	《基本をマスター》 201, 218
DVD	《基本をマスター》 16, 226
DVD-ROM	《基本をマスター》 16
DVD-Video	《基本をマスター》 16
DVD 再生	《もっとステップアップ》 21
DVD のセット	《基本をマスター》 228
DVD の取り扱い	《基本をマスター》 244
DVD の取り出し	《基本をマスター》 229

(E)

Easy CD Creator	《こんなことができる》 70
Enter キー	《基本をマスター》 75
Esc キー	《基本をマスター》 74
E メール	《基本をマスター》 134

(F)

Fn キー	《基本をマスター》 74
Fn キーを使った特殊機能キー	《もっとステップアップ》 36

(H)

HTML 形式	《基本をマスター》 138
---------------	---------------

(I)

i.LINK コネクタ	《基本をマスター》 199
i.LINK 対応機器の取り付け	《もっとステップアップ》 97
i.LINK 対応機器の取りはずし	《もっとステップアップ》 98
i.LINK によるネットワーク接続	《もっとステップアップ》 98
IEEE1394 コネクタ	《基本をマスター》 199
IEEE1394 対応機器の取り付け	《もっとステップアップ》 97
IEEE1394 対応機器の取りはずし	《もっとステップアップ》 98
IME ツールバー	《基本をマスター》 41
IME パッド	《基本をマスター》 94
Ins キー	《基本をマスター》 75
Internet Explorer	《基本をマスター》 104
Internet Explorer 画面	《基本をマスター》 106
InterVideo WinDVD	《こんなことができる》 84

(K)

KaraOK!	《こんなことができる》 80
---------------	----------------

(L)

LaLaVoice	《こんなことができる》 160
LaLaVoice Web	《こんなことができる》 170
LaLaVoice アシスタント	《こんなことができる》 172
LaLaVoice コマンド	《こんなことができる》 166
LaLaVoice テキスト	《こんなことができる》 162
LAN ケーブルの接続	《もっとステップアップ》 111
LAN コネクタ	《基本をマスター》 199
LAN コネクタに関するインジケータ	《もっとステップアップ》 112
[LAN] タブ	《もっとステップアップ》 126
LED	《基本をマスター》 25
LINE IN 端子	《基本をマスター》 199
LINE IN 端子への接続	《もっとステップアップ》 110
LINE OUT 端子	《基本をマスター》 199
LINE OUT 端子への接続	《もっとステップアップ》 109
LIVE MEDIA PLAYER	《こんなことができる》 44, 54

(M)

Microsoft Bookshelf Basic	《こんなことができる》	133
Microsoft Excel	《こんなことができる》	146
Microsoft Outlook	《基本をマスター》	136
.....	《こんなことができる》	127
Microsoft Outlook 画面	《基本をマスター》	142
Microsoft Outlook のツールバー	《基本をマスター》	144
Microsoft Outlook のヘルプの起動方法	《基本をマスター》	174
Microsoft Outlook を終了する	《基本をマスター》	175
Microsoft Word	《こんなことができる》	140
MotionDV STUDIO	《こんなことができる》	96
MS-IME のオンラインヘルプ	《基本をマスター》	98

(N)

Norton AntiVirus 2002	《こんなことができる》	196
Numeric Mode LED	《基本をマスター》	75
.....	《もっとステップアップ》	35

(O)

OS	《基本をマスター》	20
[OS の起動] タブ	《もっとステップアップ》	126
Outlook バー	《基本をマスター》	145
Outlook バーにショートカットアイコンを追加する ...	《基本をマスター》	146
Outlook バーにフォルダを作成する	《基本をマスター》	158

(P)

Pause キー	《基本をマスター》	75
PC カード	《もっとステップアップ》	85
PC カードスロット	《基本をマスター》	200
PC カードの取り付け	《もっとステップアップ》	86
PC カードの取りはずし	《もっとステップアップ》	87
PostPet	《基本をマスター》	176
PostPet のヘルプの起動方法	《基本をマスター》	178

Power LED《基本をマスター》 24, 201
PrtSc キー《基本をマスター》 75

(R)

RGB コネクタ《基本をマスター》 200

(S)

SD Card LED《基本をマスター》 236
SD メモリカード《基本をマスター》 16, 235
SD メモリカードスロット《基本をマスター》 196, 236
SD メモリカードのセット《基本をマスター》 236
SD メモリカードの取り扱い《基本をマスター》 246
SD メモリカードの取り出し《基本をマスター》 237
SD メモリカードの内容を見る《基本をマスター》 237
SD メモリカードのフォーマット《基本をマスター》 239
Shift キー《基本をマスター》 74, 75
SmartMedia《基本をマスター》 231
Space キー《基本をマスター》 74

(T)

Tab キー《基本をマスター》 74
TFT 方式カラー液晶ディスプレイ《基本をマスター》 217
The 翻訳インターネット《こんなことができる》 136
TO《基本をマスター》 181

(U)

USB コネクタ《基本をマスター》 199, 200
USB 対応機器の取り付け《もっとステップアップ》 89
USB 対応機器の取りはずし《もっとステップアップ》 90

(W)

Windows Media Player《こんなことができる》 48, 58
Windows 起動ディスク《こんなことができる》 212

Windows のネットワーク設定	《もっとステップアップ》 113
Windows のユーザ設定	《もっとステップアップ》 55
Windows ログオンパスワードの削除	《もっとステップアップ》 59
Windows ログオンパスワードの設定	《もっとステップアップ》 55
Windows ログオンパスワードの入力	《もっとステップアップ》 60
Windows ログオンパスワードの変更	《もっとステップアップ》 57
Win キー	《基本をマスター》 74

(ア)

アイコン	《基本をマスター》 40
新しいハードウェアの検出ウィザード	《もっとステップアップ》 75
アドレス	《基本をマスター》 110
アドレス帳	《基本をマスター》 161
アドレス帳を修正する	《基本をマスター》 164
アドレス帳を使って宛先を入力する	《基本をマスター》 165
アドレスバー	《基本をマスター》 107
アドレスを登録する	《基本をマスター》 161, 163
アプリケーション	《基本をマスター》 21
アプリケーションキー	《基本をマスター》 75
アプリケーション起動アイコン	《基本をマスター》 203
アプリケーションモード	《基本をマスター》 207
アプリケーションを起動する	《基本をマスター》 71
アプリケーションを削除する	《こんなことができる》 221
アプリケーションを終了する	《基本をマスター》 72
アプリケーションを追加する	《こんなことができる》 219
アロー状態	《もっとステップアップ》 35
アンインストール	《こんなことができる》 218

(イ)

イジェクトホール	《基本をマスター》 230
以前に表示したホームページを表示する	《基本をマスター》 127
インスタントセキュリティ機能	《もっとステップアップ》 36
インストール	《こんなことができる》 218
インターネット	《基本をマスター》 40

インターネットボタン	《基本をマスター》 104, 197, 205
インターネットメール	《基本をマスター》 134
インタフェース	《もっとステップアップ》 73

(ウ)

ウィンドウ	《基本をマスター》 42
ウィンドウの色を変える	《もっとステップアップ》 45
ウィンドウの大きさを変える	《基本をマスター》 44
ウィンドウの説明	《基本をマスター》 42
ウィンドウを移動する	《基本をマスター》 45
ウィンドウを最小化する	《基本をマスター》 50
ウィンドウを最大化する	《基本をマスター》 48
ウィンドウを閉じる	《基本をマスター》 52
ウィンドウを開く	《基本をマスター》 42

(エ)

英数字を入力する	《基本をマスター》 89
液晶ディスプレイ	《基本をマスター》 18
液晶ディスプレイの取り扱い	《基本をマスター》 243
駅すばあと	《こんなことができる》 102

(オ)

オーディオ／アプリケーションボタン	《基本をマスター》 197, 206
オーディオ／アプリケーションボタンロック機能	《基本をマスター》 208
オーディオ／アプリケーションボタンロック機能アイコン	《基本をマスター》 203
オーディオデジタル再生アイコン	《基本をマスター》 203
オーディオデジタル再生モード	《基本をマスター》 207
オーバレイキー	《基本をマスター》 75
大文字ロック状態	《もっとステップアップ》 34
お気に入り	《基本をマスター》 110
[お気に入り] からホームページを表示する	《基本をマスター》 113
[お気に入り] に登録する	《基本をマスター》 110
[お気に入り] を整理する	《基本をマスター》 114

オペレーティングシステム	《基本をマスター》 20
音楽 CD	《基本をマスター》 15
音楽の録音レベルを調整する	《基本をマスター》 223
音声の録音レベルを調整する	《基本をマスター》 223
音量を調整する	《基本をマスター》 220

(カ)

海外でインターネットに接続する	《もっとステップアップ》 52
回線切換器	《もっとステップアップ》 51
解像度を変更する	《もっとステップアップ》 44
顔文字	《基本をマスター》 181
書き込み保護	《基本をマスター》 233
確定	《基本をマスター》 84
カタカナ／ひらがなキー	《基本をマスター》 75
カタカナを入力する	《基本をマスター》 86
かな入力	《基本をマスター》 80
かな入力に設定を変更する場合	《基本をマスター》 80
壁紙を変える	《もっとステップアップ》 42
画面のお手入れ	《基本をマスター》 243
漢字を入力する	《基本をマスター》 85

(キ)

キーシフトインジケータ	《もっとステップアップ》 34
キーボード	《基本をマスター》 17, 74, 196
キーボードの取り扱い	《基本をマスター》 243
記号を入力する	《基本をマスター》 87
起動したときに表示するホームページを変更する	《基本をマスター》 116
休止状態	《もっとステップアップ》 23, 29

(ク)

クリックする (左ボタン)	《基本をマスター》 30
クリックする (マウス)	《基本をマスター》 35
クロック周波数	《基本をマスター》 12

(コ)

ごみ箱	《基本をマスター》 40, 61
ごみ箱に入れたファイルを元に戻す	《基本をマスター》 65
コントロールパネル	《基本をマスター》 67
[コントロールパネル] 画面	《基本をマスター》 69
コントロールパネルの閉じかた	《基本をマスター》 70
コントロールパネルの開きかた	《基本をマスター》 67
コンパクトフラッシュ	《基本をマスター》 16
コンピュータの管理者アカウント	《もっとステップアップ》 65

(サ)

再起動	《基本をマスター》 28
最小化	《基本をマスター》 50
[最小化] ボタン	《基本をマスター》 43
最大化	《基本をマスター》 48
[最大化] ボタン	《基本をマスター》 43
サイドライト用 FL 管について	《基本をマスター》 243
サブウーハー	《基本をマスター》 198

(シ)

システムインジケータ	《基本をマスター》 24, 197, 201
システム環境の変更	《もっとステップアップ》 122
周辺機器	《もっとステップアップ》 72
終了オプション	《基本をマスター》 41
受信メールを見る	《基本をマスター》 151
省電力モードの詳細設定	《もっとステップアップ》 23
消耗品	《基本をマスター》 249
署名を入れる	《基本をマスター》 172
新着メール数をモードパネルに表示する	《基本をマスター》 189
新着メールチェック機能を開始する	《基本をマスター》 184
新着メールチェック機能を使用できる状態	《基本をマスター》 183
新着メールチェックのスケジュールを設定する	《基本をマスター》 186
新着メールチェックの設定をする	《基本をマスター》 183
新着メールチェックの接続環境を設定する	《基本をマスター》 187

新着メールチェックを停止する	《基本をマスター》 194
新着メールを確認する	《基本をマスター》 193

(ス)

スーパーロングライフ	《もっとステップアップ》 21
数字ロック状態	《もっとステップアップ》 35
スクリーンセーバパスワード	《もっとステップアップ》 61
スクリーンセーバを使う	《もっとステップアップ》 43
スクロール	《基本をマスター》 46
スクロールする	《基本をマスター》 46
スクロールする (マウス)	《基本をマスター》 37
スクロールバー	《基本をマスター》 43
スタートページ	《基本をマスター》 116
スタートページに戻る	《基本をマスター》 117
[スタート] ボタン	《基本をマスター》 40
[スタート] メニュー	《基本をマスター》 40
スタンバイ	《もっとステップアップ》 27
スピーカ	《基本をマスター》 196
スマートメディア	《基本をマスター》 16, 231
スマートメディア LED	《基本をマスター》 231
スマートメディアスロット	《基本をマスター》 196, 231
スマートメディアのセット	《基本をマスター》 232
スマートメディアの取り扱い	《基本をマスター》 246
スマートメディアの取り出し	《基本をマスター》 232
スマートメディアの内容を見る	《基本をマスター》 233
スマートメディアのフォーマット	《基本をマスター》 234

(セ)

制限付きアカウント	《もっとステップアップ》 65
赤外線ポート	《基本をマスター》 196
セキュリティロック	《基本をマスター》 240
セキュリティロック・スロット	《基本をマスター》 196, 240
全角	《基本をマスター》 79
[全般] タブ	《もっとステップアップ》 123

(ソ)

操作メニュー	《基本をマスター》 42
増設メモリスロット	《基本をマスター》 200
増設メモリの取り付け	《もっとステップアップ》 117
増設メモリの取りはずし	《もっとステップアップ》 118
ソフトウェア	《基本をマスター》 10, 19

(タ)

タイトルバー	《基本をマスター》 42
ダウンロードする	《基本をマスター》 130
タスクバー	《基本をマスター》 41
タッチパッド	《基本をマスター》 17, 29, 196
タッチパッドの取り扱い	《基本をマスター》 247
タブ	《基本をマスター》 82
ダブルクリックする (左ボタン)	《基本をマスター》 31
ダブルクリックする (マウス)	《基本をマスター》 36

(チ)

直接入力	《基本をマスター》 87
------------	--------------

(ツ)

ツールバー	《基本をマスター》 42
通知領域	《基本をマスター》 41
通風孔	《基本をマスター》 198

(テ)

データのバックアップ	《基本をマスター》 247
ディスクトレイ LED	《基本をマスター》 227
ディスプレイ	《基本をマスター》 196
ディスプレイ開閉ラッチ	《基本をマスター》 196
テキスト形式	《基本をマスター》 138
てきばき家計簿MAM 3	《こんなことができる》 114
デジカメ Walker (Ulead iPhoto Express)	《こんなことができる》 92

デスクトップ	《基本をマスター》 40
デスクトップのテーマを変える	《もっとステップアップ》 41
テレビに表示する	《もっとステップアップ》 92
電源コードの取り扱い	《基本をマスター》 243
電源コネクタ	《基本をマスター》 198
電源スイッチ	《基本をマスター》 25, 196
電源に関する表示	《基本をマスター》 24
電源を入れる（2回目以降）	《基本をマスター》 24
電源を切る	《基本をマスター》 26
電子メール	《基本をマスター》 40, 134
添付されたファイルを開く	《基本をマスター》 170

(ト)

東芝 HW セットアップ	《もっとステップアップ》 123
東芝 HW セットアップのヘルプ	《もっとステップアップ》 127
東芝 PC 診断ツール	《こんなことができる》 208
東芝コントロール	《基本をマスター》 209
東芝省電力ユーティリティ	《もっとステップアップ》 20
東芝省電力ユーティリティのヘルプ	《もっとステップアップ》 26
東芝ネットメニュー	《基本をマスター》 129
特殊機能キー	《もっとステップアップ》 38
時計用バッテリー	《もっとステップアップ》 14
[閉じる] ボタン	《基本をマスター》 43
ドライバをインストールする	《もっとステップアップ》 75
ドラッグアンドドロップする（タッチパッド）	《基本をマスター》 32
ドラッグアンドドロップする（マウス）	《基本をマスター》 37

(ナ)

内蔵モデム用地域選択ユーティリティ	《もっとステップアップ》 52
-------------------------	-----------------

(ニ)

日本語入力システム MS-IME	《基本をマスター》 79
入力に関する制御キー	《基本をマスター》 90

(ネ)

ネットワーク設定 《もっとステップアップ》 113

(ノ)

ノーマル 《もっとステップアップ》 21

(ハ)

ハードウェア 《基本をマスター》 10, 11

ハードウェアの追加ウィザード 《もっとステップアップ》 75

ハードディスク 《基本をマスター》 14

ハードディスクドライブ 《基本をマスター》 218

ハードディスクドライブに関する表示 《基本をマスター》 218

廃棄 《基本をマスター》 250

ハイパワー 《もっとステップアップ》 21

[パスワード] タブ 《もっとステップアップ》 124

パソコン本体の取り扱い 《基本をマスター》 242

パソコンを起動せずに新着メールチェックをする 《基本をマスター》 192

バッテリー駆動 《もっとステップアップ》 8

バッテリー駆動での使用時間 《もっとステップアップ》 16

バッテリー残量アイコン 《基本をマスター》 203

バッテリー充電量が減少したとき 《もっとステップアップ》 13

バッテリーの充電時間 《もっとステップアップ》 16

バッテリーの充電方法 《もっとステップアップ》 15

バッテリーパック 《基本をマスター》 198

バッテリーパックの取り付け/取りはずし 《もっとステップアップ》 18

バッテリーを節約する 《もっとステップアップ》 17

パネルスイッチ機能 《もっとステップアップ》 32

半角 《基本をマスター》 79

半角英数 《基本をマスター》 87

半/全キー 《基本をマスター》 74

(ヒ)

光デジタルオーディオ出力端子	《基本をマスター》 199
光デジタル対応機器の取り付け	《もっとステップアップ》 99
光デジタル対応機器の取りはずし	《もっとステップアップ》 100
左ボタン	《基本をマスター》 29, 196
ビデオケーブルの取り付け	《もっとステップアップ》 91
ビデオケーブルの取りはずし	《もっとステップアップ》 95
ビデオ出力端子	《基本をマスター》 199
ビデオモード	《もっとステップアップ》 131
表示可能色数	《もっとステップアップ》 39
表示装置を切り替える	《もっとステップアップ》 103
ひらがなを入力する	《基本をマスター》 84

(フ)

ファイル	《基本をマスター》 53
ファイルの名前を変更する	《基本をマスター》 57
ファイルをコピーする	《基本をマスター》 59
ファイルを削除する	《基本をマスター》 61
ファイルを作る	《基本をマスター》 55
ファンクションキー	《基本をマスター》 74
フォトCD	《基本をマスター》 15
フォルダ	《基本をマスター》 53
フォルダの名前を変更する	《基本をマスター》 57
フォルダをコピーする	《基本をマスター》 59
フォルダを削除する	《基本をマスター》 61
フォルダを作る	《基本をマスター》 54
複数のユーザで使用する	《もっとステップアップ》 67
筆ぐるめ	《こんなことができる》 117
プラグアンドプレイ	《もっとステップアップ》 75
フラッシュメモ리카ード	《基本をマスター》 16
フルパワー	《もっとステップアップ》 21
プレインストール	《こんなことができる》 218

プレゼンテーション	《もっとステップアップ》 21
プロアトラス 2002	《こんなことができる》 109
フロッピーディスク	《基本をマスター》 15
.....	《もっとステップアップ》 79
フロッピーディスクドライブ	《もっとステップアップ》 77
フロッピーディスクドライブの取り扱い	《基本をマスター》 244
フロッピーディスクの取り扱い	《基本をマスター》 245
フロッピーディスクの内容を見る	《もっとステップアップ》 79
フロッピーディスクのフォーマット	《もっとステップアップ》 81
分岐アダプタ	《もっとステップアップ》 51
文書を保存する	《基本をマスター》 99

(へ)

ヘッドホン出力端子	《基本をマスター》 199
ヘッドホンの接続	《もっとステップアップ》 109
変換キー	《基本をマスター》 75
変換の区切りを変える	《基本をマスター》 92

(ホ)

ホームページの画像を壁紙に設定する	《基本をマスター》 123
ホームページの画像を保存する	《基本をマスター》 121
ホームページを検索する	《基本をマスター》 108
ホームページを保存する	《基本をマスター》 118
ポインタ	《基本をマスター》 29
ポインタの形を変える	《もっとステップアップ》 46
ポインタの軌跡を表示する	《もっとステップアップ》 50
ポインタの速度を変える	《もっとステップアップ》 49
ポインタを動かす (タッチパッド)	《基本をマスター》 30
ポインタを動かす (マウス)	《基本をマスター》 35
補修用性能部品	《基本をマスター》 249
保守サービス	《基本をマスター》 249
ホットインサージョン	《もっとステップアップ》 76
ボリュームコントロール	《基本をマスター》 222
ボリュームダイヤル	《基本をマスター》 198, 220

(マ)

マイコンピュータ	《基本をマスター》 41
マイドキュメント	《基本をマスター》 41
マイピクチャ	《基本をマスター》 41
マイミュージック	《基本をマスター》 41
マイク入力端子	《基本をマスター》 199
マイクロホンの接続	《もっとステップアップ》 108
マウス	《基本をマスター》 17, 33
マウスの持ちかた	《基本をマスター》 34
マルチドライブ	《基本をマスター》 198, 225
マルチドライブに関する表示	《基本をマスター》 227

(ミ)

右クリックする (マウス)	《基本をマスター》 36
右クリックする (右ボタン)	《基本をマスター》 31
右ボタン	《基本をマスター》 29, 196

(ム)

無変換キー	《基本をマスター》 74
-------------	--------------

(メ)

メール	《基本をマスター》 134
メールサーバ	《基本をマスター》 135
メール着信情報を消す	《基本をマスター》 193
メールにファイルを添付する	《基本をマスター》 168
メールボタン	《基本をマスター》 136, 197, 205
メールを検索する	《基本をマスター》 167
メールを削除する	《基本をマスター》 156
メールを作成する	《基本をマスター》 147
メールを受信する	《基本をマスター》 150
メールを送信する	《基本をマスター》 150
メールを転送する	《基本をマスター》 155

メールを分類する	《基本をマスター》 159
メールを返信する	《基本をマスター》 153
メニューバー	《基本をマスター》 42
メモ帳を開く	《基本をマスター》 77
メモリ	《基本をマスター》 13
メモリ容量の確認	《もっとステップアップ》 120

(モ)

モード切替ボタン	《基本をマスター》 197, 206
モードパネル	《基本をマスター》 182, 197, 202
モードパネルに表示されるアイコン	《基本をマスター》 203
モードパネルに表示される文字列	《基本をマスター》 204
モードパネルの点灯	《基本をマスター》 203
文字キー	《基本をマスター》 76
文字化け	《基本をマスター》 138
モジュラージャック	《基本をマスター》 198
文字を削除する	《基本をマスター》 91
持ち運ぶとき	《基本をマスター》 248
[元に戻る (縮小)] ボタン	《基本をマスター》 43

(ヤ)

矢印キー	《基本をマスター》 75
------------	--------------

(ユ)

ユーザーアカウントの画像を変更する	《もっとステップアップ》 64
ユーザーアカウントの種類を変更する	《もっとステップアップ》 65
ユーザーアカウントの追加	《もっとステップアップ》 67
ユーザーアカウントの名前を変更する	《もっとステップアップ》 63
ユーザーアカウントを切り替える	《もっとステップアップ》 68

(ヨ)

よく見るホームページを登録する	《基本をマスター》 110
読みかたがわからない文字を入力する	《基本をマスター》 94

(ラ)

ライトプロテクトエリア	《基本をマスター》 233
ライトプロテクトタブ	《もっとステップアップ》 80
ライトプロテクトタブ (SD メモリカード)	《基本をマスター》 238

(リ)

履歴の検索	《基本をマスター》 127
-------------	---------------

(ロ)

ローマ字キー	《基本をマスター》 75
ローマ字入力	《基本をマスター》 80
ローマ字入力一覧表	《基本をマスター》 254
ロングライフ	《もっとステップアップ》 21

